

大雪に関する気象情報

東京管区気象台

1. 段階的に発表される気象情報

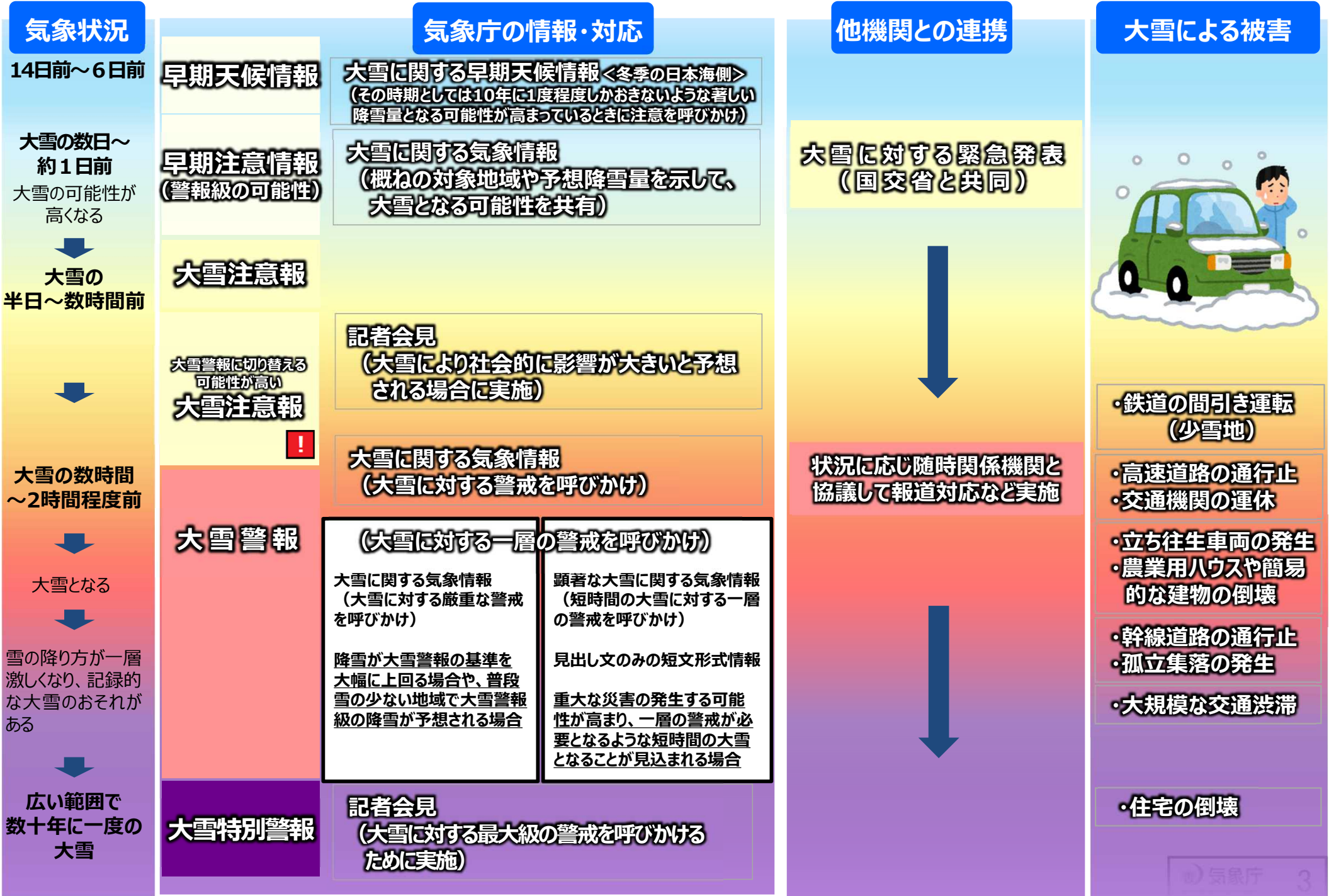
2. 積雪・降雪の把握

3. 2022年1月6日の大雪事例

4. 参考資料

段階的に発表される気象情報

大雪のおそれに応じて段階的に発表される気象情報と対応



- その時期としては10年に1度程度しか起きないような著しい降雪量（冬季の日本海側）となる可能性が、いつもより高まっているときに、6日前までに注意を呼びかける情報です。
- 6日先から14日先までの期間で、5日間降雪量がかなり多くなる可能性が高まっていると判断した時に発表します。最新の気象情報に留意してください。

低温と大雪に関する早期天候情報（北陸地方）

令和2年12月21日14時30分 新潟地方気象台 発表

- 北陸地方 12月29日頃から かなりの低温
- かなりの低温の基準：5日平均地域気温平年差 - 2.5℃以下
- 北陸地方は冬型の気圧配置が続き、平年より低い気温で経過しています。向こう一週間程度は平年並か平年より高い日が多いですが、その後は大陸からの寒気の影響を受け、気温は低くなる見込みです。29日頃からは、冬型の気圧配置が強まり、気温は平年よりかなり低くなり、降雪量は平年よりかなり多くなる可能性があります。
- 農作物の管理等に注意するとともに、除雪などの対応、水道管の凍結等に留意してください。また、最新の2週間気温予報など、今後の気象情報に留意してください。

早期注意情報（警報級の可能性）



- 警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として [高]、[中] の2段階で発表しています。
- 警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいため、可能性が高いことを表す [高] だけでなく、可能性が高くはないが一定程度認められることを表す [中] も発表しています。
- 府県気象情報の内容と合わせて確認してください。

新潟県中越の早期注意情報(警報級の可能性)

2020-12-25-11時発表

新潟県中越		12/25 11:00発表					12/25 11:00発表			
		25日		26日			27日	28日	29日	30日
		夕方まで 12-18	夜~明け方 18-24	朝~夜遅く 0-6	6-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1時間最大雨量 (ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	-	-	-	
	3時間最大雨量 (ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	-	-	-	
	24時間最大雨量 (ミリ)	斜線	斜線	50から100			-	-	-	
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	[中]	
	6時間最大降雪量 (センチ)	20	20	20	20	15	-	-	-	
	24時間最大降雪量 (センチ)	斜線	斜線	30から50			-	-	-	
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	[中]	
	陸上 最大風速 (メートル)	9以下	10	10	9以下	10	-	-	-	
	海上 最大風速 (メートル)	13	15	15	12	12	-	-	-	
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	波高 (メートル)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	-	-	-	

新潟県中越の早期注意情報(警報級の可能性)

2020-12-28-11時発表

新潟県中越		12/28 11:00発表					12/28 11:00発表			
		28日		29日			30日	31日	1日	2日
		夕方まで 12-18	夜~明け方 18-24	朝~夜遅く 0-6	6-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1時間最大雨量 (ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	-	-	-	
	3時間最大雨量 (ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	-	-	-	
	24時間最大雨量 (ミリ)	斜線	斜線	50以下			-	-	-	
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	[高]	
	6時間最大降雪量 (センチ)	0	0	0	0	0	[中]	[高]	[高]	
	24時間最大降雪量 (センチ)	斜線	斜線	0			[中]	[高]	[高]	
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	
	陸上 最大風速 (メートル)	9以下	9以下	9以下	9以下	10	[中]	[中]	[中]	
	海上 最大風速 (メートル)	10	10	9以下	9以下	14	[中]	[中]	[中]	
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	波高 (メートル)	1.5	1	1	1	1.5	-	-	-	

大雪に関する気象情報

- 気象情報は、警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補足するために発表します。早期注意情報（警報級の可能性）と合わせて確認してください。

大雪に関する東京都気象情報 第4号

令和4年1月6日16時56分 気象庁発表

（見出し）

東京地方では、6日夜のはじめ頃にかけて、大雪となる見込みです。

特に東京23区では大雪による交通障害や路面の凍結に警戒し、着雪にも注意してください。

（本文）

[気象状況と予想]

日本の南を低気圧が東へ進んでいます。関東地方では南部を中心に雪が降っており、積雪となっている所があります。

[雪の実況と予想]

6日16時現在の積雪の深さは、

千代田区北の丸公園 6センチ（アメダスによる速報値）となっています。

東京地方では、6日夜のはじめ頃にかけて雪が降り、大雪となるでしょう。

6日18時から7日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

東京23区5センチ、多摩地方3センチです。

6日の降雪量の合計は

東京23区10センチ、多摩地方8センチ

となる見込みです。

[防災事項]

東京地方では、6日夜のはじめ頃にかけて、大雪となる見込みです。

特に東京23区では、大雪による交通障害や路面の凍結に警戒してください。

また、電線や樹木への着雪にも注意してください。

[補足事項]

今後発表する防災気象情報に留意してください。

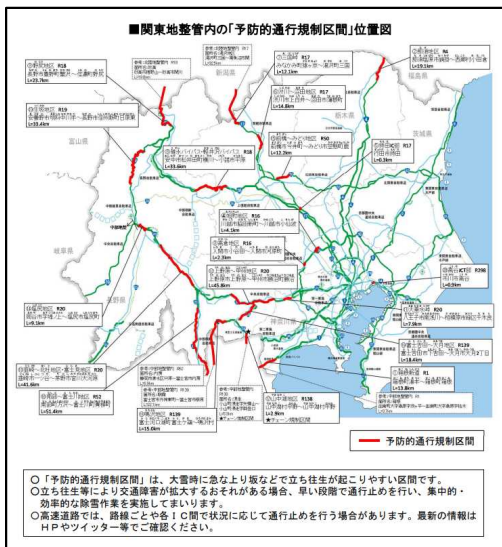
次の「大雪に関する東京都気象情報」は、6日23時頃に発表する予定です。

大雪に対する緊急発表

- 普段とは異なる顕著な降雪や猛吹雪が予想される場合、普段降雪が少ない地域においてまとまった降雪が予想される場合など、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こすおそれのある大雪が予想される場合には、国土交通省と気象庁が共同して記者会見を開き、車両の立ち往生などに対して一層の警戒を呼びかけます。
- 関東甲信地方でも地方整備局と気象台、高速道路事業者等と共同して記者会見や記者発表を行い警戒を呼びかけます。

令和4年2月9日：大雪に対する国土交通省緊急発表（[国土交通省ホームページ](#)より転載）

- 本省：[大雪に対する国土交通省緊急発表](#)
- 関東地方整備局：[大雪に対する緊急発表](#)
- 中部地方整備局：[積雪や路面凍結による交通障害等にご注意ください](#)



大雪に対する緊急発表 令和4年2月13日 別紙1

- 14日朝にかけて、関東甲信地方では大雪となる所があるでしょう。関東地方南部の平地でも大雪となるでしょう。平地では10日から11日にかけての大雪の時よりも降雪量が多くなる見込みで、東京23区でも8センチの降雪量となる所があるでしょう。
- 予想より気温が低くなった場合は、さらに降雪量が増えるおそれがあり、特に連休明け朝の通勤・通学に影響を及ぼすおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

【今後の気象の見通し】

警報級の大雪となる可能性のある期間と予想降雪量
 (●可能性がある、■可能性が高い)

日	12日	14日	15日	13日12時～14日12時 024時間平均値
茨城県	大雪	大雪	大雪	北茨城 15センチ 南茨城 10センチ 東茨城 5センチ
群馬県	大雪	大雪	大雪	北群馬 15センチ 東群馬 5センチ
栃木県	大雪	大雪	大雪	宇都宮 15センチ 日光 8センチ 鹿沼 3センチ
埼玉県	大雪	大雪	大雪	北埼玉 15センチ 南埼玉 5センチ
千葉県	大雪	大雪	大雪	北千葉 5センチ 南千葉 3センチ
東京都	大雪	大雪	大雪	東京23区 8センチ 多摩地区 5センチ 多摩西地区 15センチ
神奈川県	大雪	大雪	大雪	東神奈川 5センチ 西神奈川 20センチ
山梨県	大雪	大雪	大雪	20センチ
長野県	大雪	大雪	大雪	20センチ

【予想天気図及び数値予報による天気予想】

地上天気図と上空約1500m付近の気温

数値予報による天気予想
(2月14日0時の予想)

令和4年1月6日の関東地方南部の大雪
東京都千代田区で積雪10cmを観測

撮影場所：東京都千代田区

令和4年2月10日の関東甲信地方の大雪

撮影場所：東京都千代田区

・今後の雪
多雪や降雪の状況、6時間先までの雪の降り方を確認できます。
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

※各地の気象台が発表する最新の気象情報に留意してください。

国土交通省 冬の道路情報 公式サイト

地域を選んで最新の雪の状況や情報をチェック
おしえて!雪ナビ

TOP > 予防的通行規制区間

予防的通行規制区間

大雪時の予防的通行規制区間とは

国が管理する道路において、大雪時に急な立ち往生が起きやすい場所等を特定し、集中的・効率的に優先して除雪を行う区間をいいます。大雪時にチェーン装着待機や通行止めによる集中除雪を実施する場合がありますのでご留意をお願いします。区間は以下の地図から確認できます。

北海道整備局
 北陸地方整備局
 東北地方整備局
 近畿地方整備局
 中国地方整備局
 四国地方整備局
 九州地方整備局
 関東地方整備局

撮影場所：東京都千代田区

大雪警報・注意報



- 警報は、重大な災害が発生するような警報級の現象がおおむね3～6時間先に予想されるときに発表することとしています。
- 警報級の現象が概ね6時間以上先に予想されているときには、警報の発表に先立って、警報に切り替える可能性が高い注意報を発表することとしています。
- 隣接県の大雪警報、着雪やなだれ等の注意報にも留意してください。

2022-01-06-10時42分発表

令和4年 1月6日 10時42分 気象庁発表
 東京都の注意警戒事項
 東京地方では、6日昼過ぎから6日夜のはじめ頃まで大雪に注意してください。

千代田区 **[発表]大雪注意報**

千代田区 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象	
	6日				7日					
	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	
大雪										12時間最大降雪量5センチ 降雪による交通障害

2022-12-31-16時05分発表

令和4年 1月6日 16時05分 気象庁発表
 東京都の注意警戒事項
 東京地方では、6日夜のはじめ頃まで大雪に警戒してください。

千代田区 **[発表]大雪警報 着雪注意報**

千代田区 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象	
	6日				7日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	
大雪										12時間最大降雪量10センチ 降雪による交通障害
着雪										



2021-10-17 (表示例)

2021年10月17日11時25分発表
 17日09-12時の予想

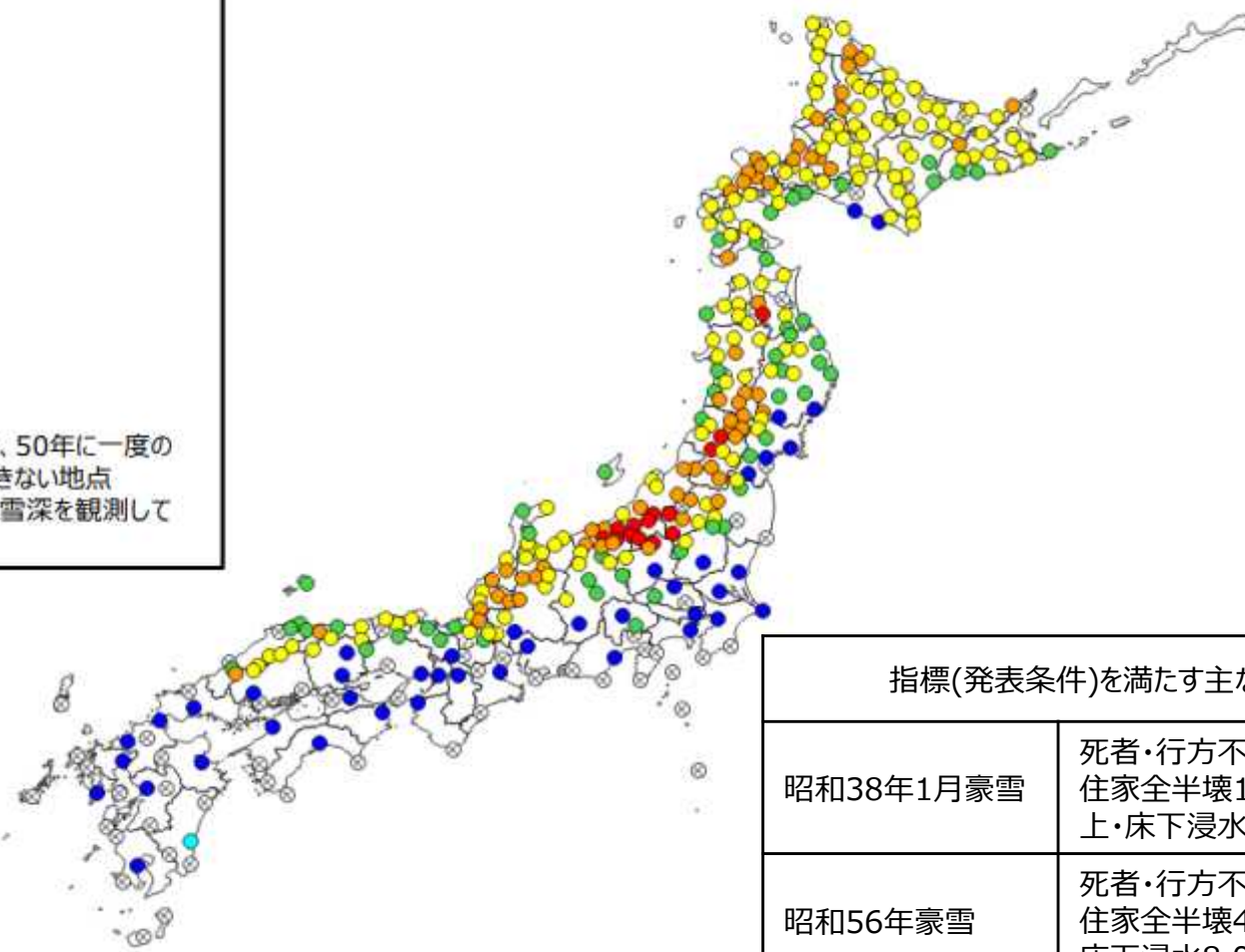
警報・注意報の種別選択

明日までの予想

17日 09-12時 17日 12-15時 17日 15-18時 17日 18-21時 17日 21-24時 18日 00-03時 18日 03-06時 18日 06-09時 18日 09-12時

大雪特別警報

- 記録的な大雪（府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深）となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合には、大雪特別警報を発表します。



指標(発表条件)を満たす主な事例	
昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者231人 住家全半壊1,735棟 床上・床下浸水6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者152人 住家全半壊466棟 床上・床下浸水8,097棟

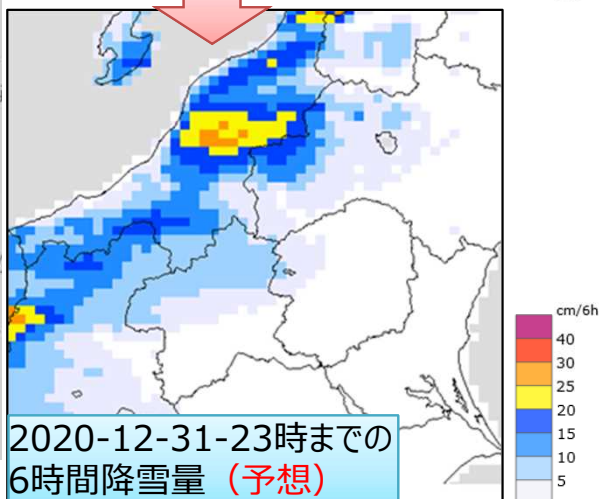
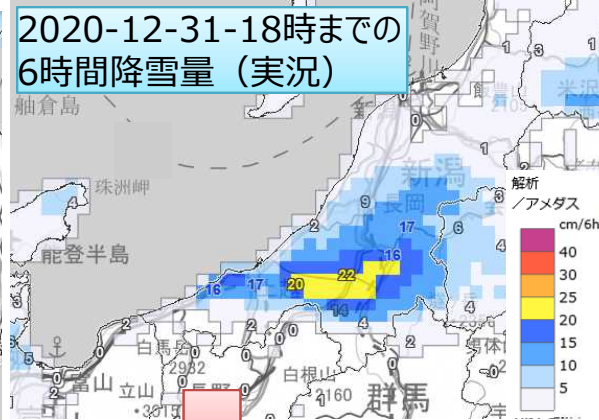
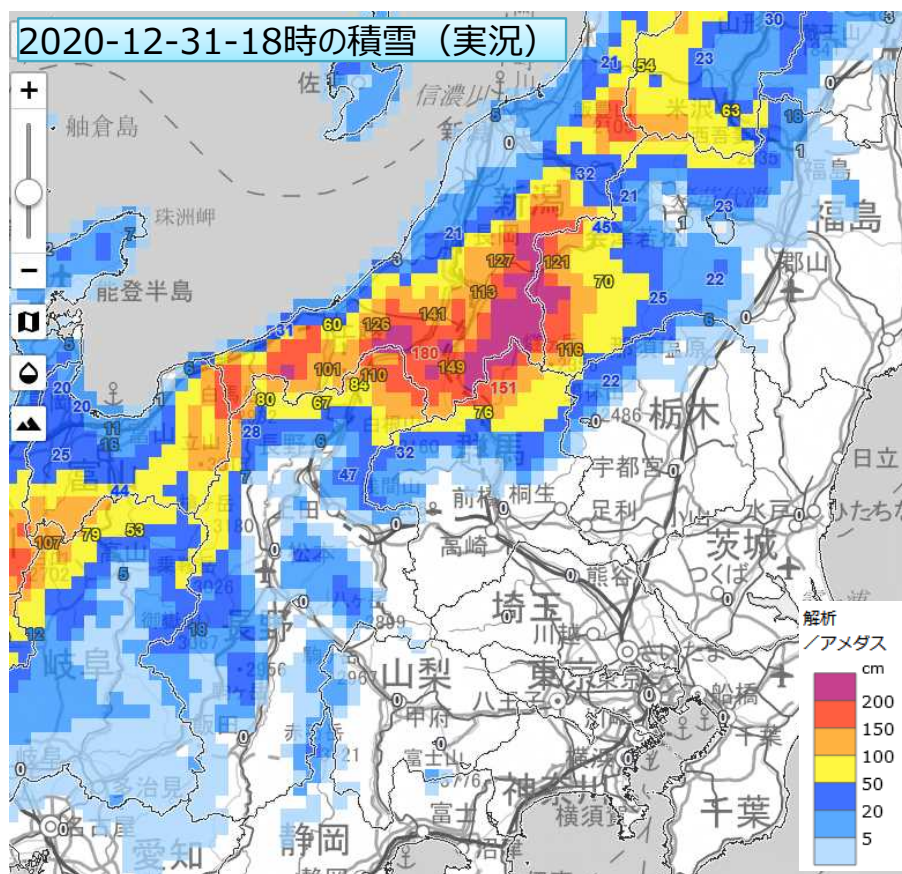
(注)50年に一度の積雪深の値が小さな地域については、既往最深積雪深の値なども用いて指標(発表条件)を設定する。

1. 段階的に発表される気象情報
2. **積雪・降雪の把握**
3. 2022年1月6日の大雪事例
4. 参考資料

積雪・降雪の把握

今後の雪（降雪短時間予報）

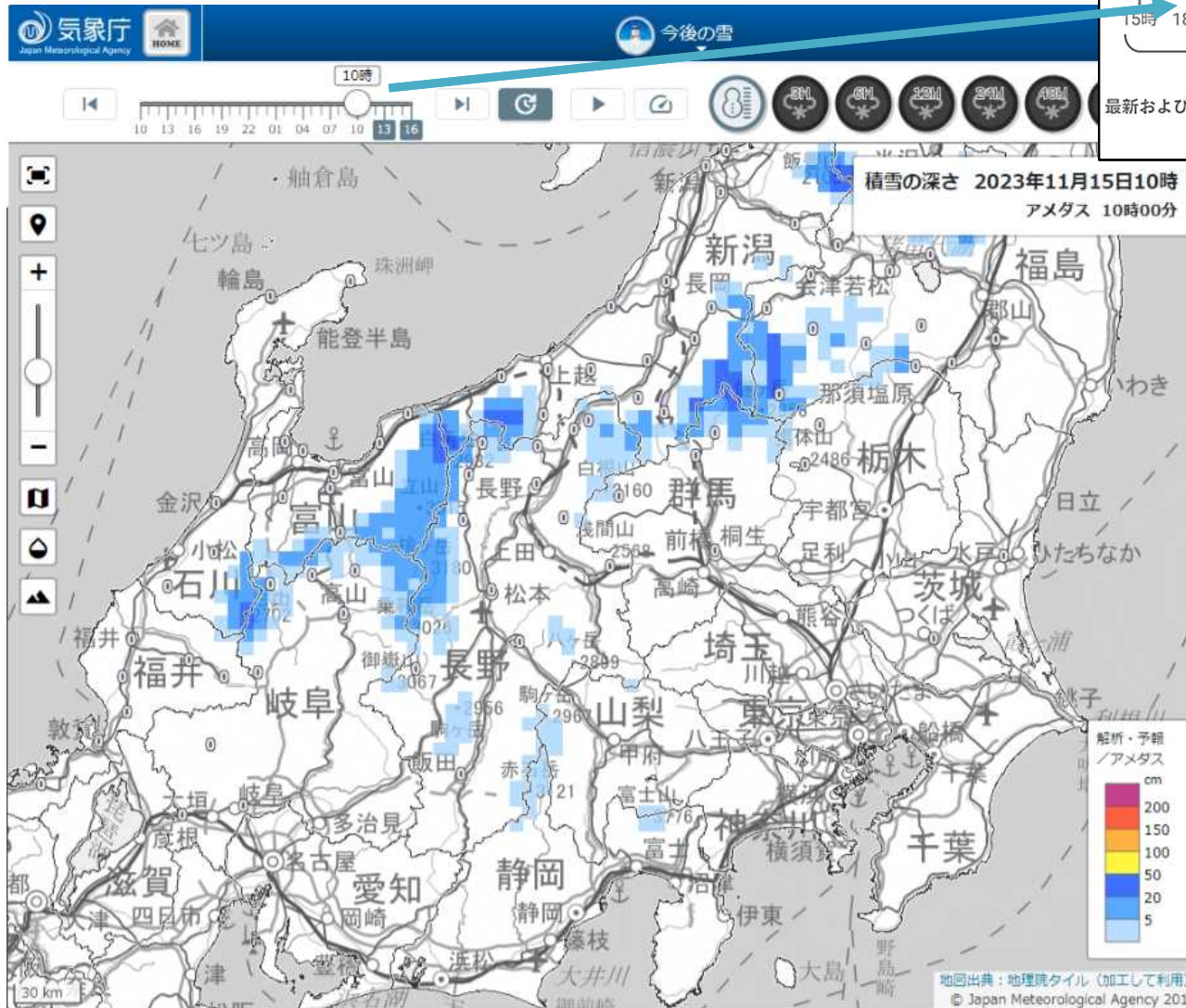
- 解析積雪深・解析降雪量と組み合わせて、6時間先までの積雪深や降雪量の予測分布が確認できます。雪による交通への影響等を前もって判断いただくための情報としてご利用ください。
- この情報は1cm単位で活用いただくことを想定していません。今後数時間先までの積雪の深さ・降雪量の予想分布の傾向を把握するための資料としてご利用ください。



今夜はまだ降りそうだ・・・
通行止めになると困るし、
車はやめておこう。
帰るのは来週にしよう。



今後の雪



最新および過去のデータ：解析積雪深・解析降雪量
(1時間間隔)

1~6時間先
予報：降雪短時間予報
(1時間間隔)

気象庁ホームページでは、今後の雪（降雪短時間予報）のページで、解析積雪深・解析降雪量、降雪短時間予報をシームレスに確認することができます。リンク先の時間を表すバーが薄い色の時間帯が解析積雪深・解析降雪量、濃い色の時間帯が降雪短時間予報の表示になります。

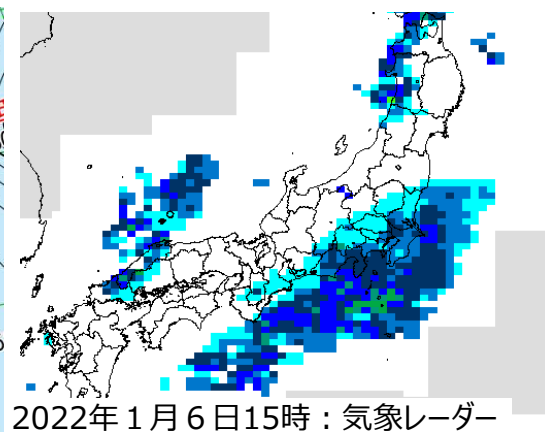
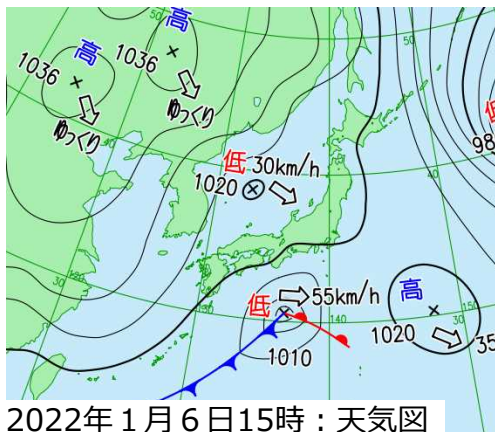
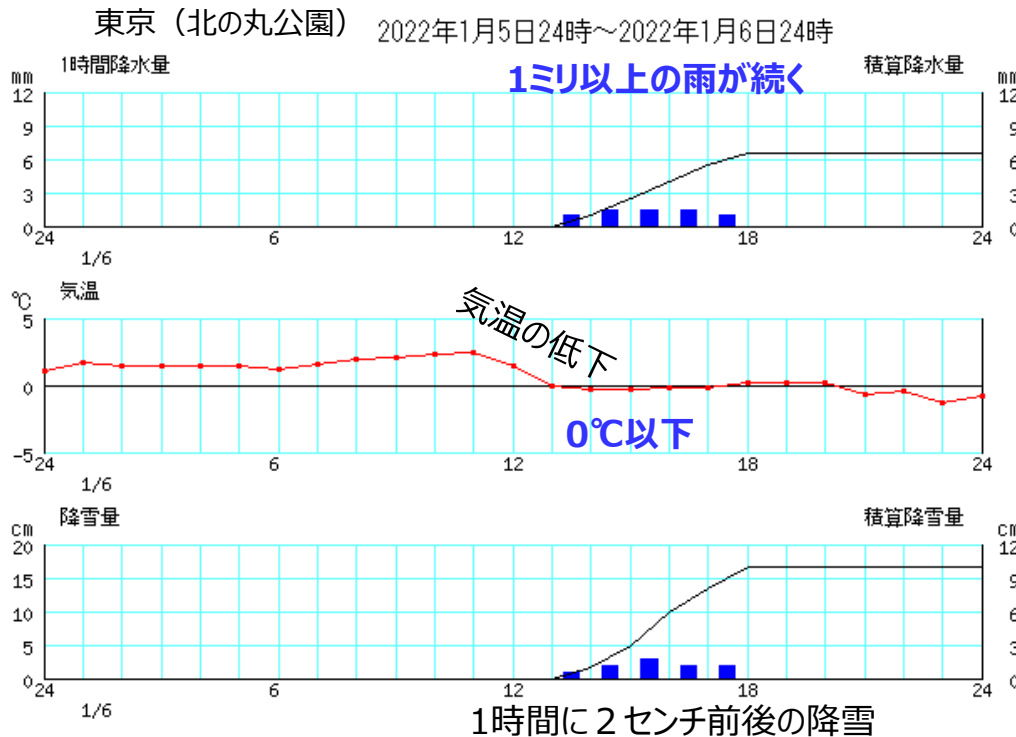
積雪の深さと降雪量の実況を1時間ごとに約5km四方の細かさで推定するものです。解析積雪深・解析降雪量を利用すると、積雪計による観測が行われていない地域を含めた積雪・降雪の面的な状況の把握できます。

1. 段階的に発表される気象情報
2. 積雪・降雪の把握
3. **2022年1月6日の大雪事例**
4. 参考資料

2022年1月6日の大雪事例

2022年1月6日の大雪

- 昼過ぎから夕方にかけて関東地方南部を中心に雪の降りやすい気象状況となり、東京23区、千葉県、茨城県南部に大雪警報を発表しました。



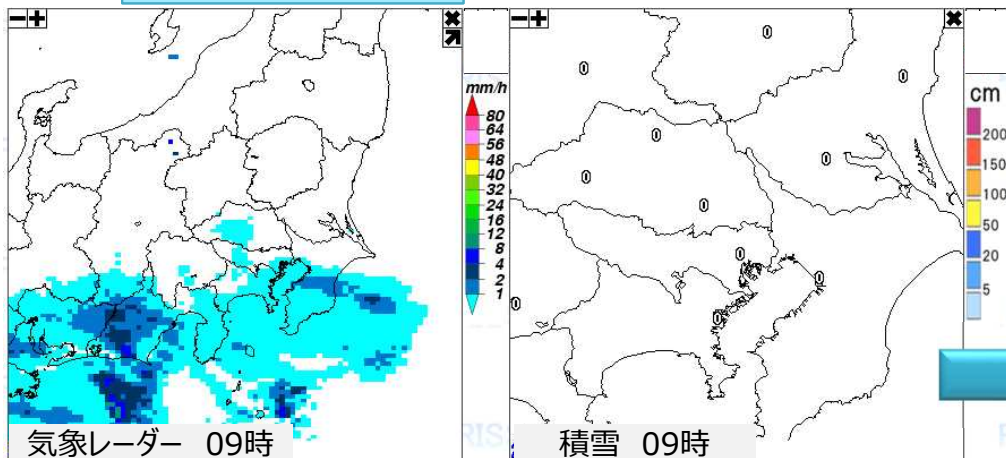
東京（北の丸公園）気象観測表

年	月	日	時	1時間降水量	気温	積雪深	降雪量
2022	1	6	1	0.0	1.7	0	0
2022	1	6	2	0.0	1.5	0	0
2022	1	6	3	0.0	1.4	0	0
2022	1	6	4	0.0	1.5	0	0
2022	1	6	5	0.0	1.5	0	0
2022	1	6	6	0.0	1.2	0	0
2022	1	6	7	0.0	1.6	0	0
2022	1	6	8	0.0	1.9	0	0
2022	1	6	9	0.0	2.1	0	0
2022	1	6	10	0.0	2.3	0	0
2022	1	6	11	0.0	2.4	0	0
2022	1	6	12	0.0	1.5	0	0
2022	1	6	13	0.0	0.0	0	0
2022	1	6	14	1.0	-0.3	1	1
2022	1	6	15	1.5	-0.3	3	2
2022	1	6	16	1.5	-0.2	6	3
2022	1	6	17	1.5	-0.2	8	2
2022	1	6	18	1.0	0.2	10	2
2022	1	6	19	0.0	0.2	10	0
2022	1	6	20	0.0	0.2	9	0
2022	1	6	21	0.0	-0.7	9	0
2022	1	6	22	0.0	-0.4	9	0
2022	1	6	23	0.0	-1.3	9	0
2022	1	6	24	0.0	-0.8	9	0

2022年1月6日の大雪

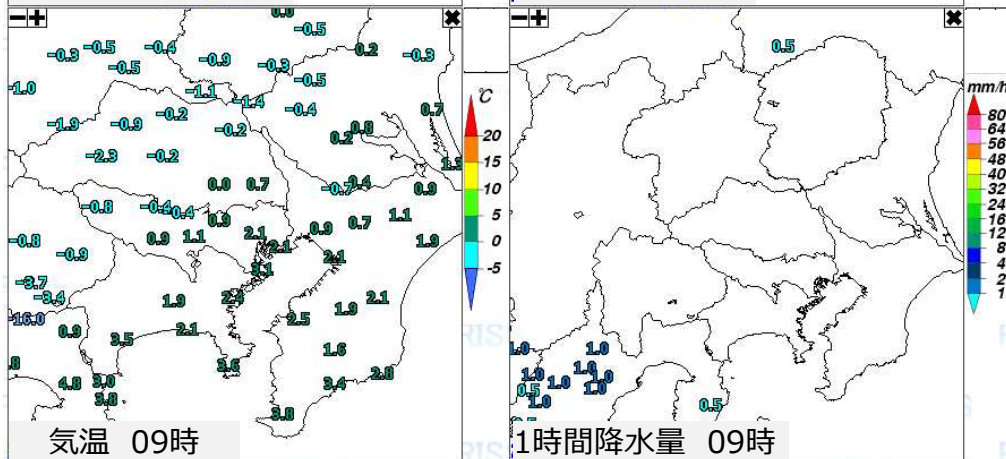
- 昼過ぎから夕方にかけて関東地方南部を中心に雪の降りやすい気象状況となり、東京23区、千葉県、茨城県南部に大雪警報を発表しました。

弱い雨がかり始める



気象レーダー 09時

積雪 09時

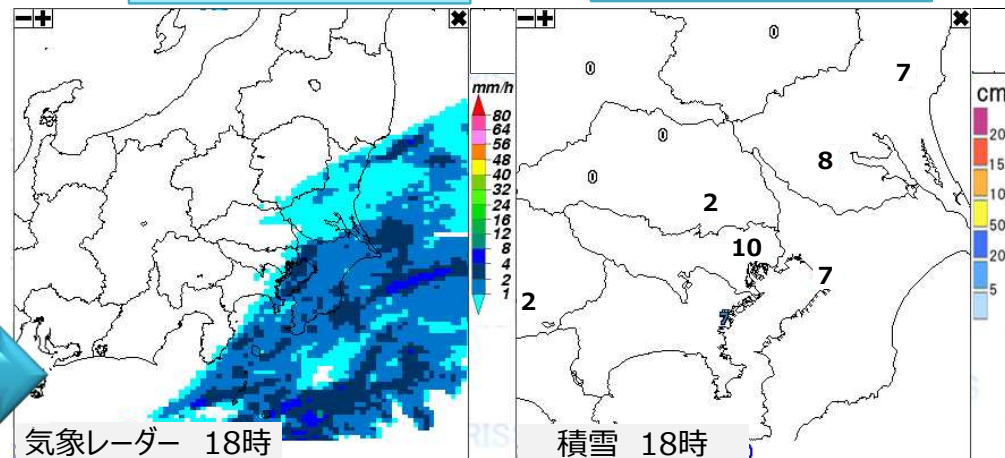


気温 09時

1時間降水量 09時

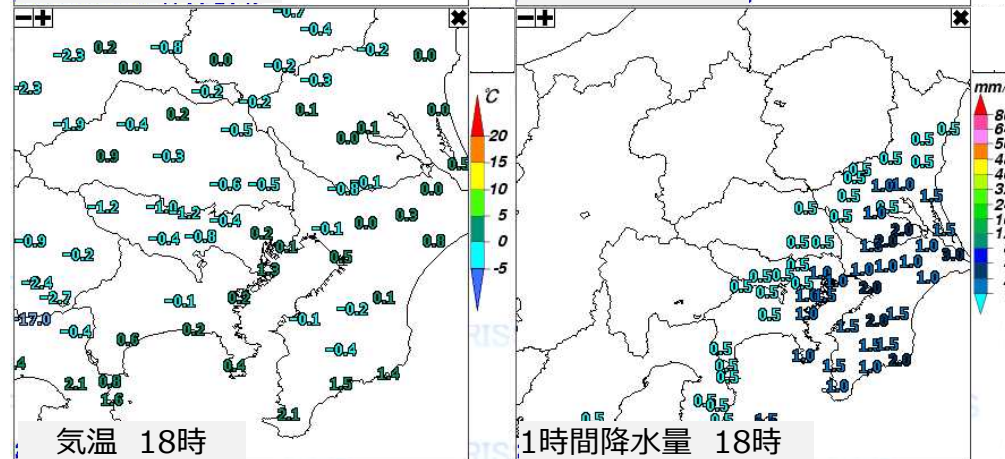
雨域のかかる関東南部沿岸部の気温は0℃以上

雨域が北に広がる



気象レーダー 18時

積雪 18時



気温 18時

1時間降水量 18時

雨域のかかる関東南部沿岸部の気温は0℃以下に低下

1ミリの雨を観測

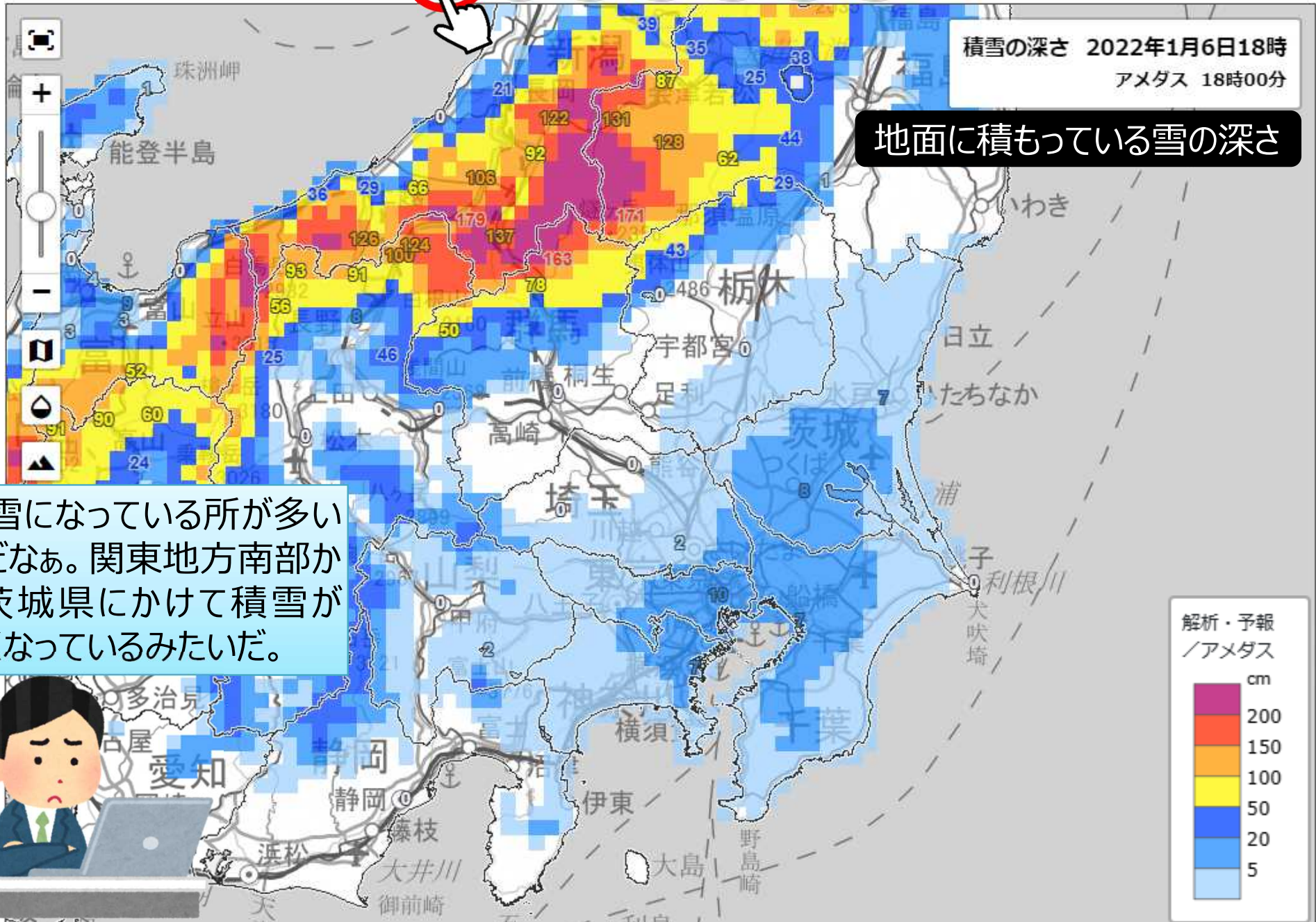
2022年1月6日18時 今後の雪（積雪）

積雪



積雪の深さ 2022年1月6日18時
アメダス 18時00分

地面に積もっている雪の深さ



積雪になっている所が多いんだなあ。関東地方南部から茨城県にかけて積雪が多くなっているみたいだ。



2022年1月6日18時 今後の雪 (3時間降雪量)

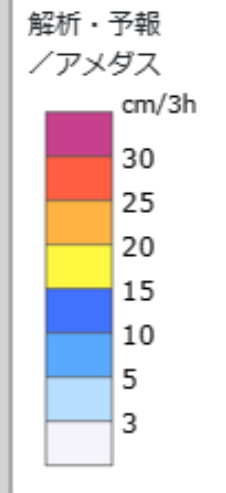
3時間降雪量



3時間降雪量 2022年1月6日18時まで
アメダス 18時00分

前3時間に積もった雪の深さ

関東地方南部で雪の降り方が強いんだな。



雨雲の広がりや気温から雪が積もりそうな所を推察

雨雲の動き

2028年11月15日13時05分

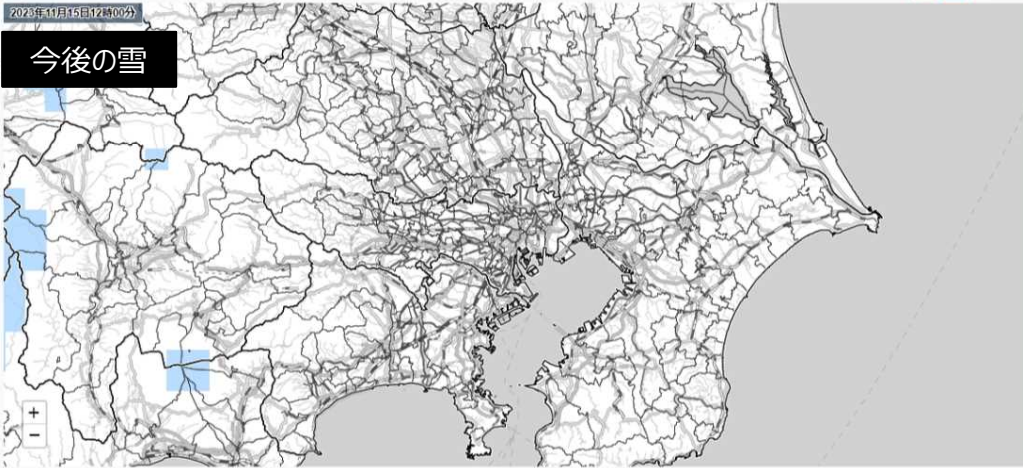
雨雲の動き



今後の雪

2028年11月15日12時00分

今後の雪



アメダス (一覧表)

アメダス (一覧表)

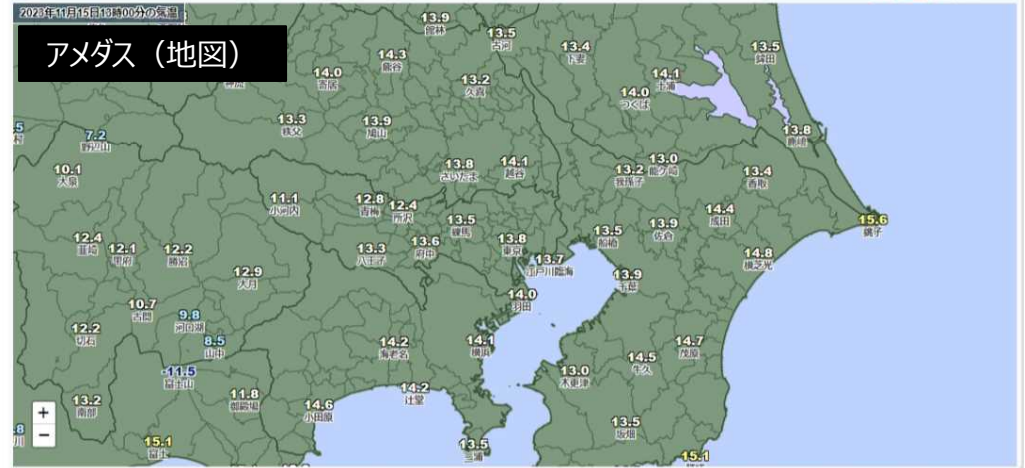
地点名をクリックすると一覧表を表示します

	東京	江戸川臨海	世田谷	練馬	羽田
気温	13.8℃	13.7℃	---	13.5℃	14.0℃
最低気温	10.3℃ (03:40)	10.3℃ (05:57)	---	9.2℃ (06:18)	11.5℃ (05:49)
最高気温	14.1℃ (12:50)	13.8℃ (12:55)	---	13.8℃ (12:46)	14.2℃ (12:26)
降水量 (前1h)	0.0mm	0.0mm	0.0mm	0.0mm	0.0mm
降水量 (前24h)	0.0mm	0.5mm	0.0mm	0.0mm	0.5mm
降雪量 (前1h)	*	---	---	---	---
降雪量 (前24h)	*	---	---	---	---
風向・ 風速	↙ 北北西 1.8m/s	↓ 北 2.5m/s	---	↘ 北 1.8m/s	↘ 北 3.8m/s
湿度	61%	---	---	---	---

アメダス (地図)

2028年11月15日13時00分の天気

アメダス (地図)



気温の低下や雨域の広がりなどを参考に雪の影響を推察することができます。
[今後の雪](#)と併せて左の二次元バーコード、下記リンクをご利用ください。

https://www.jma.go.jp/bosai/#pro&disp=radar,amedas_table,snow,amedas!temp&col=dmdcmdc&row=fll&area_type=class20s&area_code=1310100

1. 段階的に発表される気象情報
2. 積雪・降雪の把握
3. 2022年1月6日の大雪事例
4. 参考資料

参考資料

自然災害に備えて～東京都の気象状況の着目点～

気象庁ホーム

防災情報

各種データ・資料

地域の情報

知識・解説

各種申請・ご案内

気象庁ホーム > 地域の情報 > 東京都 > 自然災害に備えて～東京都の気象状況の着目点～

自然災害に備えて～東京都の気象状況の着目点～

東京都の気象状況の着目点をまとめています。

● これで備える 東京都の気象防災

これで備える 東京都の気象防災 (PDF版11MB)

東京都の地勢や気象特性、地域細分やアメダス配置図・主な災害記録などの基礎資料を冊子にまとめました。

● 現象別資料

南岸低気圧による大雪 (※対象は東京地方 (東京都のうち島嶼部を除く地域))

2012年～2022年において、東京都心で積雪10cm以上を記録したのは、
2022年1月6日 10cm (観測データ)、
2018年1月22日 23cm (災害をもたらした気象事例) (観測データ)、
2014年2月15日 27cm (災害をもたらした気象事例) (観測データ)、
2014年2月8日 27cm (観測データ)、

の4例ありますが、要因はすべて南岸低気圧です。

そこで、南岸低気圧による東京都の大雪について、現象の仕組みや着目点、発表する情報をまとめました。

目次

東京都での課題と、大雪発生の仕組み
発表する気象情報のタイミングと内容

南岸低気圧による大雪の仕組みについて、
解説アニメーションを掲載しています。

過去の大雪事例日です。事業継続計画
等、対策の参考にしてください。

(その他さまざまな現象について、これから追加していきます)



大雪に対して一層の警戒を呼びかける気象情報

顕著な大雪に関する気象情報（短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ）

重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることが見込まれる場合に発表する気象情報

- 降雪量（実況値）と今後の見通しを記載した短文形式の気象情報
- 令和元年12月から、新潟県、富山県、石川県、福井県、福島県（会津地方）、山形県で運用を開始し、令和3年12月からは、滋賀県、兵庫県、京都府、広島県、岡山県、島根県、鳥取県でも運用しています。

【発表の目安】

対象	6時間降雪の深さが警報基準の地域		12時間降雪の深さが警報基準の地域	
	3時間（観測）	6時間（予測）	6時間（観測）	12時間（予測）
北陸地方、山形県、近畿地方、中国地方	20～25センチ	30～40センチ	20～45センチ	25～70センチ
福島県（会津）	3時間降雪量20～25センチまたは6時間降雪量30～40センチを観測、24時間降雪量80～110センチに到達すると予測した場合			

目安は地域の最小値と最大値を表記していますので、個々の観測地点ごとに値が異なります。観測実況値はアメダス等の値を使います。過去の交通障害などと、そのときの観測値を検証して発表の目安を設定します。目安は情報の効果を検証して適宜、見直します。

大雪に関する気象情報（大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ）

降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合や、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想され、重大な災害の発生の可能性が高まり、一層の警戒が必要となる場合に発表する気象情報

- 厳重な警戒を呼びかける、文章形式または見出し文のみの短文形式の気象情報

顕著な大雪に関する気象情報（発表例）

2021年1月7日以降11日にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に断続的に強い雪が降りました。発達した雪雲が流れ込み続けた、新潟、富山、石川、福井では、7日から9日にかけて「顕著な大雪に関する気象情報」を発表して警戒を呼びかけました。

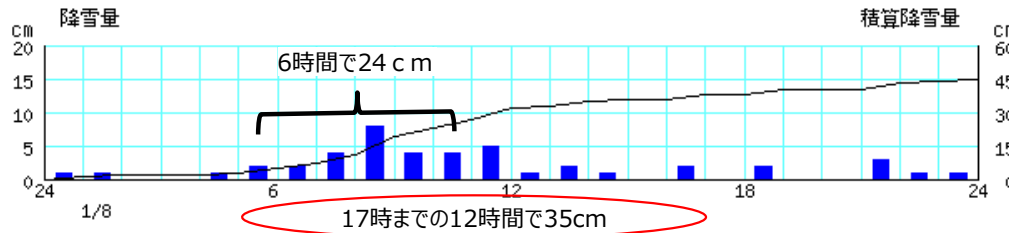
顕著な大雪に関する福井県気象情報 第12号
令和3年1月8日11時32分 福井地方気象台発表
(見出し)

福井市で8日11時までの6時間で24センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は9日にかけて続く見込みです。嶺北では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

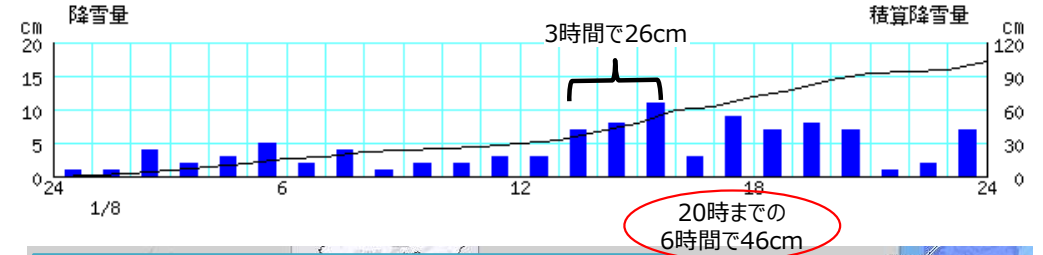
顕著な大雪に関する新潟県気象情報 第10号
令和3年1月8日16時22分 新潟地方気象台発表
(見出し)

上越市高田では、8日16時までの3時間に26センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は9日夕方にかけて続く見込みです。上越の平地では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

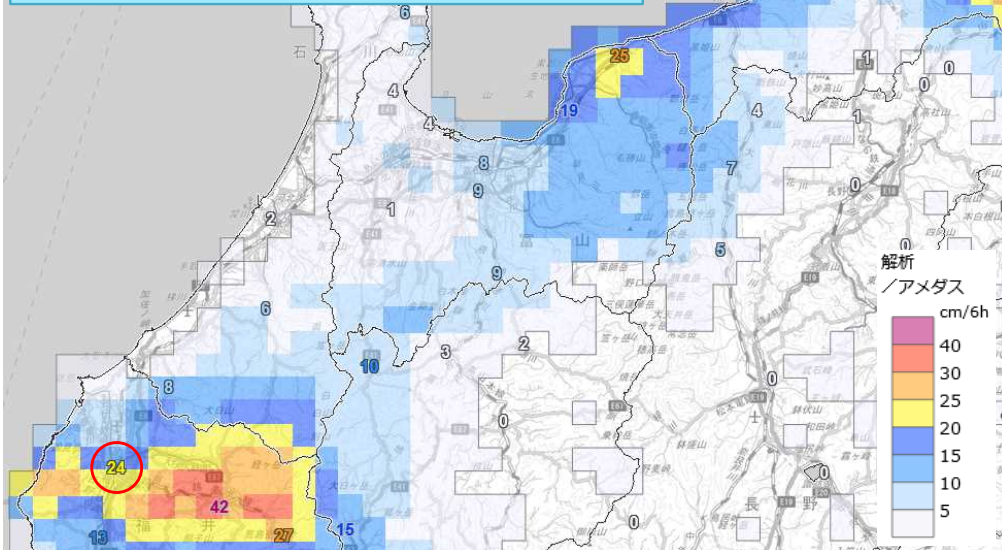
福井 (57066) 2021年1月7日24時～2021年1月8日24時



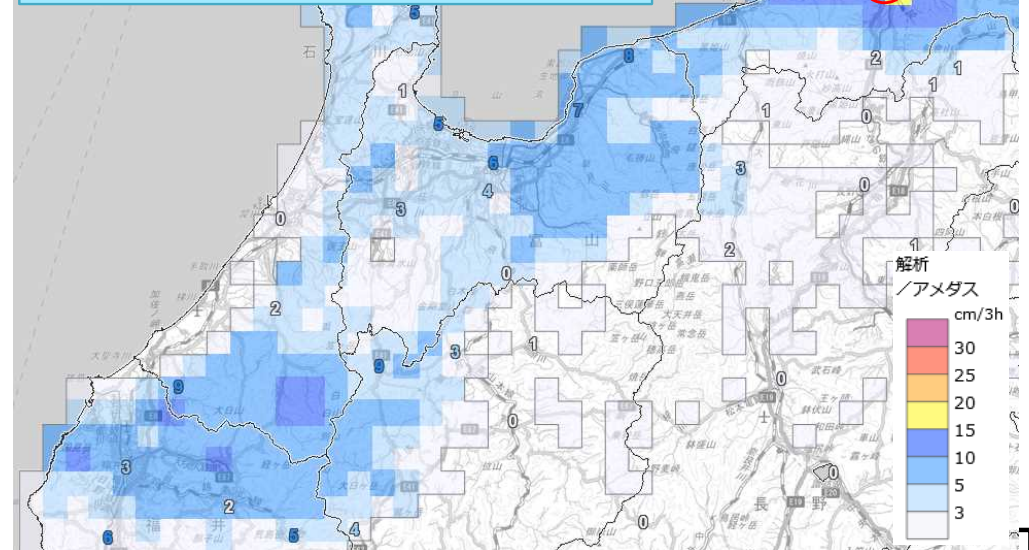
高田 (54651) 2021年1月7日24時～2021年1月8日24時



2021-1-8-11時の解析降雪量 (6時間)
数値はアメダス観測値



2021-1-8-16時の解析降雪量 (3時間)
数値はアメダス観測値



大雪時の道路交通確保対策について

運輸防災マネジメントセミナー

国土交通省 関東地方整備局

道路部 道路管理課

2023年11月28日

- 日本上空にこの冬一番の強い寒気が流れ込み、管内では長野県、群馬県、栃木県を中心に24日～25日にかけて大雪となった。
- 関東地整は、気象台、運輸局、高速道路会社と23日に合同記者発表を行い、交通障害への注意・警戒の呼びかけを実施。
- 国道18号 長野県長野市豊野町～新潟県境、国道20号 諏訪市～塩尻市の区間では、並行する高速道路と連携して通行止めを行い集中除雪を実施。
- 乗員保護の体制として、19名の体制を構築。また、官用車、防寒装備、食料、活動備品の準備を実施。

1. 気象状況

- ・1/24 (火) 10:10 長野県 大雪警報発表
⇒25日 (水) 04:36 大雪注意報へ切替え
- ・1/25 (水) 8:17 栃木県 大雪警報発表
⇒25日 (水) 20:12 大雪注意報へ切替え

2. 雪害対策本部の体制

<本部>

- ・注意体制：1/24 15:00設置～1/26 10:00解除

<支部>

- ・警戒体制：長野国道 1/24 15:00～1/25 5:00
- ・注意体制：横浜国道、東京国道、宇都宮国道、関東技術

3. 道路の通行止め

- ・国道18号 長野県長野市豊野町～新潟県上越市 延長60.7km
(関東管内 長野県長野市豊野町～新潟県境(長野県信濃町) 延長22.8km)
1/24 15:00 通行止 ⇒ 1/25 5:00 通行止解除
※上信越道 上越JCT-長野IC(上下線)の通行止めと連携
- ・国道20号 長野県諏訪市～長野県塩尻市 延長28.0km
1/25 00:20 通行止 ⇒ 1/25 4:30 通行止解除
※中央道(上り線)伊那IC-岡谷IC-諏訪IC
中央道(下り線)諏訪IC-岡谷JCT-伊北IC
長野道(上下線)塩尻IC-岡谷JCTの通行止めと連携

4. 乗員保護体制の構築

- ・1/24
17:00-20:00 長野方面の保護活動を想定し、19名の体制を構築
21:30迄 官用車、防寒装備、食料、活動備品の準備を完了
- ・1/25
9:15 乗員保護体制を解除

令和5年1月24日から大雪(83関東)直轄規制区間

令和5年 大雪
230125 6:00時点
国土交通省
関東地方整備局



国道18号 信濃町古間地先の道路状況



国道4号 栃木県那須郡那須町柏沼南地先の道路状況

- 2月10日の朝方から深夜にかけて、関東甲信地方を南岸低気圧が通過し、管内では大雪となった。
- 関東地整は、9日に気象台、運輸局、高速道路会社と合同記者発表を行い、交通障害への注意・警戒の呼びかけを実施。
- 直轄区間では、8路線で通行止めを行い除雪を実施。(国道1号、16号、19号、20号、52号、138号、139号、中部横断自動車道)
- 本部は、タイヤチェック・チェーン指導のため甲府河川国道支部へ4名のTEC-FORCE隊員を派遣。
支部は、6支部で計98名の職員が現地においてタイヤチェック・チェーン指導、通行止等の対応に従事。
- 乗員保護体制として要員19名の体制を構築し、防寒装備、食料、活動備品の準備を整え、乗員保護活動に備えた。

1. 気象状況

- ・2/10(金)大雪警報発表
長野県、東京都、埼玉県、山梨県、群馬県、栃木県

2. 雪害対策本部の体制

- ・本部 警戒体制
- ・支部 警戒体制 8支部、注意体制 7支部

3. 道路の通行止め

- ・国道1号 箱根新道(山崎IC～箱根峠IC)
- ・国道16号 町田立体・高架部
- ・国道19号 長野県塩尻市～松本市
- ・国道20号 東京都八王子市～長野県塩尻市(3区間)
- ・国道52号 山梨県南巨摩郡南部町～富士川町
- ・国道138号 山梨県南都留郡山中湖村～静岡県境
- ・国道139号 山梨県大月市～静岡県境(2区間)
- ・中部横断自動車道 富沢IC～六郷IC

4. TEC-FORCE派遣(タイヤチェック、チェーン指導等)

- ・2/10(金)TEC-FORCE派遣
9:00 本部から甲府河川国道富士吉田(出)4名派遣
21:30 本部帰還

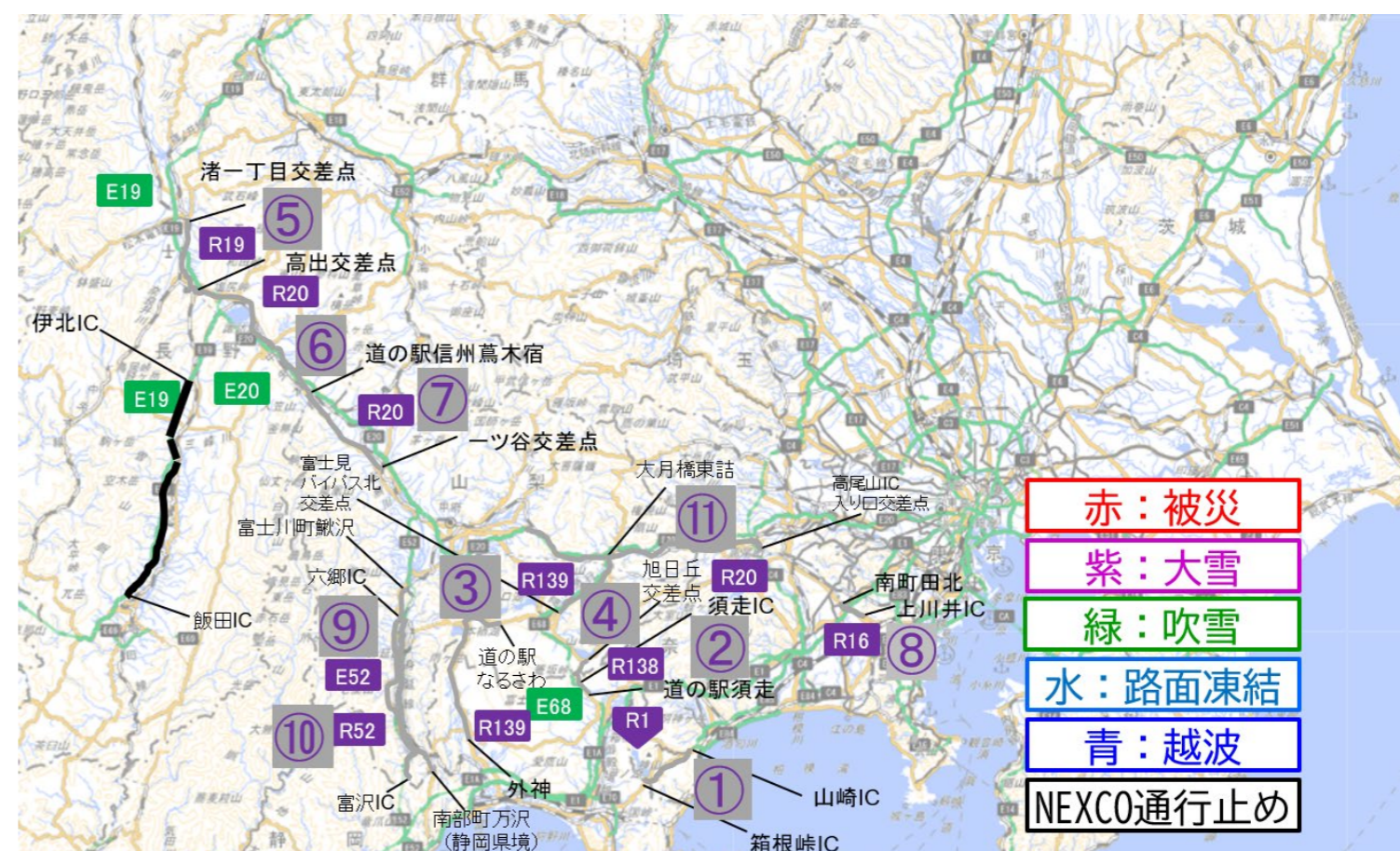
- ・6支部(甲府、相武、長野、高崎、大宮、宇都宮)において、計98名の職員を派遣し、タイヤチェック、チェーン指導、通行止等を実施

5. 乗員保護体制の構築

- ・2/10(金)16:40 保護活動を想定し19名の体制を構築
官用車、防寒装備、食料、活動備品の準備を完了
- ・2/10(金)21:00 乗員保護体制を解除

■管内の交通規制状況図

2月11日(土)10:50時点



■現地における交通規制状況



国道20号 神奈川県相模原市千木良地先

■現地におけるチェーン指導状況



国道138号 山梨県山中湖村交差点地先

国が管理する道路での行動計画（タイムライン）について

- 大雪注意報・警報が発令された又は可能性がある場合は、高速道路・国道・地方道の各道路管理者をはじめ、関係機関との連絡体制を構築。
- 気象台や運輸局、高速道路会社と連携した「大雪に対する緊急発表」において、広域迂回や外出を控えていただく広報を実施。

大雪注意報・警報

① 広域迂回や外出を控えていただくよう呼びかけ

大雪注意報・警報が発令された又は可能性がある場合は、

- ・ ホームページ、SNS（X（旧Twitter）等）、道路情報板等による広域迂回や外出を控えていただく呼びかけを実施（2～3日前）
- ・ 記者発表、記者会見を実施（前日）

② 冬用タイヤチェック、チェーン指導を実施

③ 高速道路・国道の予防的通行止め（同時）の実施に向けた関係機関との調整

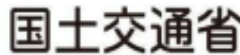
④ （降雪状況により）高速道路・国道の予防的通行止め（同時）を実施

⑤ 除雪等、安全な通行が確保出来た段階で通行止めを解除

⑥ （降雪状況により）通行止め解除後、冬用タイヤチェックを実施

■タイムラインに基づいた道路利用者等への情報提供と情報共有について

○道路利用者への注意喚起に向けて、本局では気象庁や運輸局、高速道路会社と連名で記者発表を行い、各事務所では道路情報板やSNSを利用した情報発信を実施。



Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和5年11月22日

国土交通省関東地方整備局
気象庁東京管区气象台
国土交通省関東運輸局
国土交通省北陸信越運輸局
東日本高速道路株式会社関東支社
中日本高速道路株式会社東京支社・八王子支社
首都高速道路株式会社

降雪シーズンの運転に向けた準備の呼びかけ

～道路利用者の皆様には、冬用タイヤの装着、チェーンの携行をお願いします。～

今年も降雪シーズンを迎えました。道路利用者の皆様には、冬季の運転に向けた冬用タイヤの装着やチェーンの携行をお願いします。

また、降雪の恐れがある場合は、お出かけ前に最新の気象情報や道路情報等をご確認頂き、安全運転をお願いします。

大雪の恐れがある場合は、大規模な交通障害や事故を未然に防ぐ対応として、予防的通行止めを実施する場合がございます。広域迂回等の通行ルートの見直しや外出を控えるなど、道路利用者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

公共交通機関では、降雪に伴う運休や遅延が生じる恐れがございますので、最新の運行情報に注意して下さい。また、荷物の集配に遅延が生じる恐れがございますので、ご理解、ご協力をお願いします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 山梨県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 長野県庁会見場 長野市政記者クラブ 長野市政記者会 横浜海事記者クラブ 物流専門紙 関東運輸局記者会 (ハイタク等専門紙)

<問い合わせ先>

○道路に関すること

国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路管理課	TEL: 048-601-3151 (代表)
道路管理課長 松澤 尚利 (まつざわ なおとし)	(内線 4411)
東日本高速道路株式会社 お客さまセンター	TEL: 0570-024-024 または TEL: 03-5308-2424
中日本高速道路株式会社 お客さまセンター	TEL: 0120-922-229 または TEL: 052-223-0333
首都高速道路株式会社 お客さまセンター	TEL: 03-6667-5855

○公共交通・事業用自動車に関すること

国土交通省 関東運輸局 総務部 (長野県以外)	TEL: 045-211-7269
安全防災・危機管理課長 三橋 裕 (みつはし ゆたか)	
国土交通省 北陸信越運輸局 総務部 (長野県)	TEL: 080-5097-8453
安全防災・危機管理調整官 川口 秀一 (かわぐち しゅういち)	

○気象情報に関すること

気象庁 東京管区气象台 気象防災部	TEL: 042-497-7221
気象防災情報調整官 土井内 則夫 (どいうち のりお)	(内線 803)

■道路情報板の状況例



通行止め区間の事前表示



関東南部平野部においても注意喚起表示

■SNSでの情報発信

- ・冬用タイヤチェックや除雪作業の実施を繰り返し発信
- ・CCTV画像を活用して、現地の状況を的確に伝達

国土交通省 関東地方整備局 道路部さんがリツイートしました

国土交通省 甲府河川国道... 2時間 ...

#山梨県内 では、10日から11日にかけて大雪の予報が出ています。外出する場合は冬用タイヤの装着及びチェーン携行をお願いします。

また、積雪時は通行止めを実施する可能性があります。事前に最新の道路情報をご確認下さい。

#道路情報 #いのちとくらしをまもる防災減災 #山梨防災

国土交通省 相武国道事務... 19時間 ...

【通行注意】10時30分現在の#国道20号大垂水峠の様子です。タイヤチェックは引き続き継続中です。冬用タイヤ装着・チェーン携行をお願いします。降雪の状況により通行止めを行うことがあります。管内の路面状況はこちら→ktr.mlit.go.jp/sobu/sobu_inde...

#いのちとくらしをまもる防災減災



■タイムラインに基づいた道路利用者等への情報提供と情報共有について

冬用タイヤ交換しよう。

11月は、タイヤ装着運動月間です。

早くも！

大規模車両滞留の発生時期 (H25~R4)

11月	12月	1月	2月	3月
	7回	6回	4回	3回
ここまでに装着	12月~1月にほとんど発生			発生ゼロ

12月中旬~要注意! 大規模な車両滞留が何度も発生しています!

- 冬用タイヤへの早めの交換、タイヤチェーンの携行・早めの装着を。
- 冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上あることを確認。
- 大型車は常にチェーン携行を。

プラットホーム
溝深さが「プラットホーム」に達している冬用タイヤとして使用できません。

最も早い初積雪日

関東	平成29年	中部	令和3年
長野市	11月21日	高山市	11月27日

ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象!

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

国土交通省 公益社団法人 雪センター

大雪予想時 不要不急の外出は控えて!

大規模な車両滞留を発生させないためにご協力をお願いいたします。

令和4年12月19日 国道8号(豊後平野)による交通障害の発生状況

雪みち情報・ライブカメラ・ツイッター 外出前にチェック!
全国の雪みち情報「おしえて!雪ナビ」

冬タイヤ・チェーンはもちろん、車内にもしもの備えを!

- 毛布
- 食料・飲料
- スコップ
- 乾いた砂をペットボトルに入れて
- 凍り止め

ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象!

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面上での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)違反行為は、反則金の適用となります。

※タイヤチェーン装着車の走行を禁止する規制時は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

国土交通省 公益社団法人 雪センター

■タイムラインに基づいた道路利用者等への情報提供と情報共有について

<道路利用者・荷主・物流事業者へのお願い>

- **大雪の恐れがある場合、広域迂回等の通行ルートの見直しや通勤などの外出を控えて下さい**

大雪の恐れがある場合は、大規模な交通傷害や事故を未然に防ぐ対応として、予防的通行止めを実施する場合がございます。

広域迂回等の通行・運行ルートの見直し、広域移動の自粛、通勤や買い物を含めた外出を控えるなど、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

- **冬用タイヤの装着、チェーンの携行・早めの装着をお願いします**

- **悪質な立ち往生が発生した場合は、監査を実施します**

国土交通省では、冬用タイヤの未装着等により事業用自動車が立ち往生した場合、悪質な事例については、監査を実施したうえで、講じた措置が不十分と判断されれば、当該事業者の行政処分を行うこととしています。

- **各公共交通機関における運行情報に注意して下さい**

各公共交通機関では、降雪に伴う運休や遅延等が生じる恐れがございますので、最新の運行情報に注意して下さい。

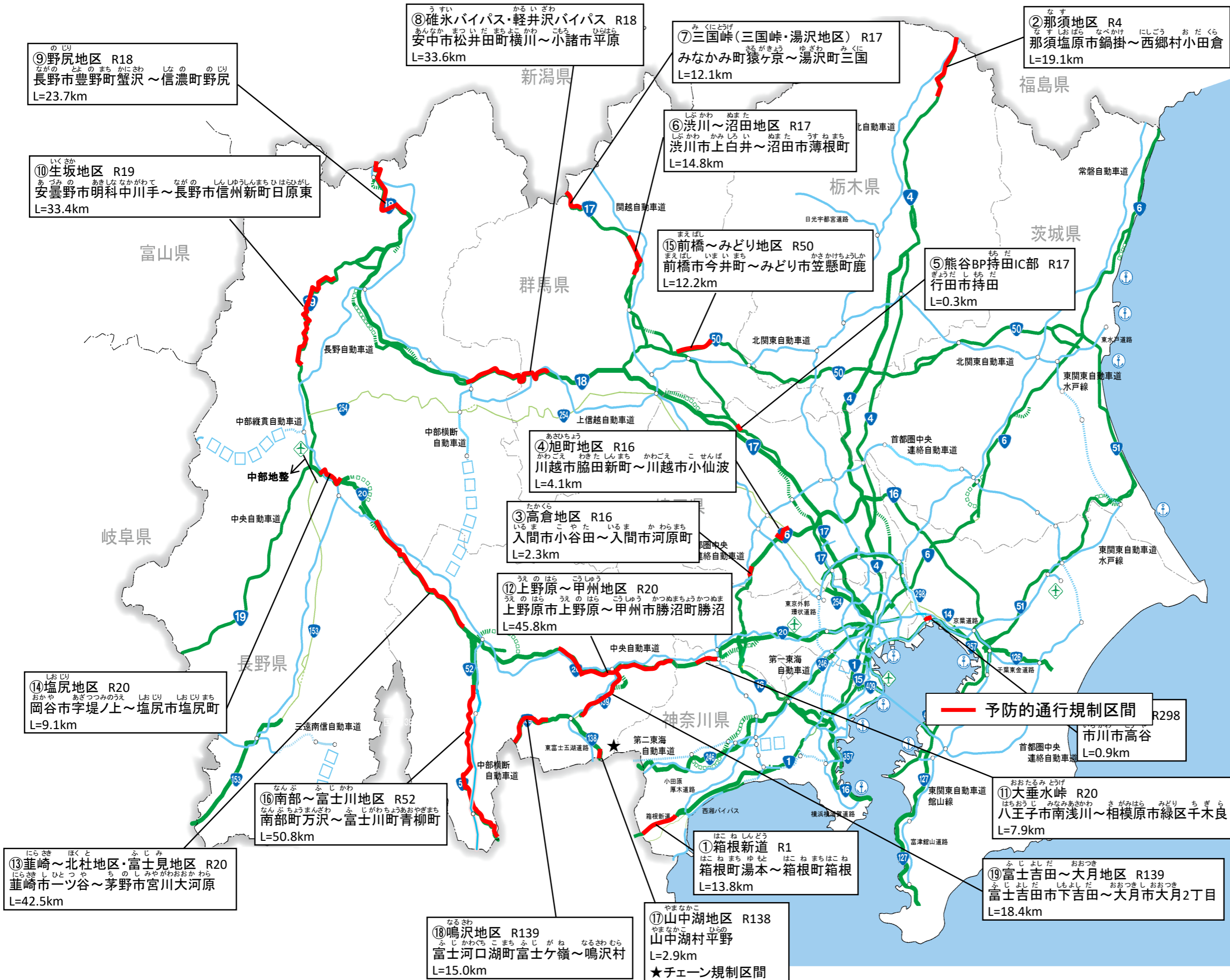
また、荷物の集配に遅延が生じる恐れがございますので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

<企業等へのお願い>

- **大雪の恐れがある場合、在宅勤務への切り替えをお願いします**

大雪の恐れがある場合、外出自粛を目的とした在宅勤務へ切り替えを実施するなど、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

関東地整管内の「予防的通行規制区間」位置図



○「予防的通行規制区間」は、大雪時に急な上り坂などで立ち往生が起こりやすい区間です。

○立ち往生等により交通障害が拡大する恐れがある場合、早い段階で通行止めを行い、

集中的・効率的な除雪作業を実施します。

○高速道路又は並行する国道のいずれかが通行止めを行う場合は、基本的に他方についても

通行止め（高速道路と並行する国道を同時通行止め）を実施します。

○最新の道路情報は、「関東甲信地方の雪道ポータルサイト」でご確認をお願いします。

関東地整管内の「予防的通行規制区間」一覧

予防的通行規制区間:362.4km					
番号	事務所名	都県政令市	路線	箇所名	延長(km)
①	横浜	神奈川県	1	箱根新道	13.8
②	宇都宮	栃木県	4	那須地区	19.1
③	大宮	埼玉県	16	高倉地区	2.3
④	大宮	埼玉県	16	旭町地区	4.1
⑤	大宮	埼玉県	17	持田IC部	0.3
⑥	高崎	群馬県	17	渋川～沼田地区	14.8
⑦	高崎	群馬県	17	三国峠	12.1
⑧	高崎・長野	群馬県・長野県	18	碓氷BP・軽井沢BP	33.6
⑨	長野	長野県	18	野尻地区	23.7
⑩	長野	長野県	19	生坂地区	33.4
⑪	相武	東京都・相模原市	20	大垂水峠	7.9
⑫	甲府	山梨県	20	上野原～甲州地区	45.8
⑬	甲府・長野	山梨県・長野県	20	韮崎～北杜地区・富士見地区	41.6
⑭	長野	長野県	20	塩尻地区	9.1
⑮	高崎	群馬県	50	前橋～みどり地区	12.2
⑯	甲府	山梨県	52	南部～富士川地区	50.8
⑰	甲府	山梨県	138	山中湖地区	2.9
⑱	甲府	山梨県	139	鳴沢地区	15.0
⑲	甲府	山梨県	139	富士吉田～大月地区	18.4
⑳	首都	千葉県	298	高谷JCT部	0.9

- 「予防的通行規制区間」は、大雪時に急な上り坂などで立ち往生が起こりやすい区間です。
- 立ち往生等により交通障害が拡大する恐れがある場合、早い段階で通行止めを行い、集中的・効率的な除雪作業を実施します。
- 高速道路又は並行する国道のいずれかが通行止めを行う場合は、基本的に他方についても通行止め（高速道路と並行する国道を同時通行止め）を実施します。
- 最新の道路情報は、「関東甲信地方の雪道ポータルサイト」でご確認をお願いします。

チェーン規制を実施する可能性がある区間



○直轄国道 ■

都道府県	路線番号	箇所名	区間	延長(km)	道路管理者
山梨県 静岡県	国道138号	山中湖・須走	山中湖村平野~小山町須走字御登口	8.2	国土交通省

○高速道路 ■

都道府県	路線番号	道路名	区間	延長(km)	道路管理者
新潟県 長野県	E18	上信越道	信濃町IC~新井PA(上り線)	24.5	NEXCO東日本
山梨県	E20	中央道	須玉IC~長坂IC	8.7	NEXCO中日本

高速道路における災害事例とその対応

運輸防災マネジメントセミナー

東日本高速道路 関東支社
令和5年11月28日



過去の災害事例

- 令和3年12月27日(月)23時頃、E17関越道 六日町IC～小出IC間⑦の195.7KP付近で **大型車(走行3台、追越2台)が走行不能となり車線が閉塞**された。
- その影響で、関越道六日町IC～小出IC⑦が**約6時間にわたり通行止め**となった。
なお、現場付近を先頭にした**車線閉塞後の車両滞留台数は106台となり、滞留解消まで約3時間**を要した。

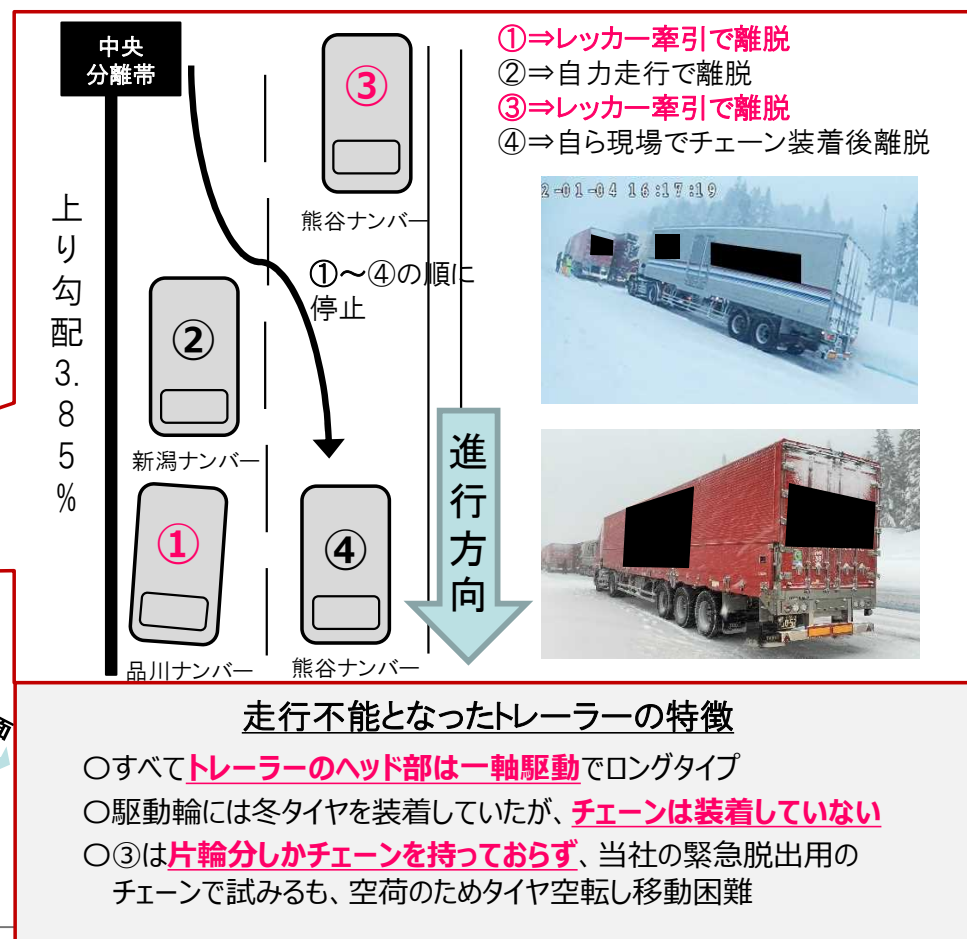


ポイント

○首都圏の車両が豪雪地域で走行不能となるケースが多い

過去の災害事例

- 令和4年1月4日(火)15時頃、E17関越道 湯沢IC～土樽PA間④の160.7KP付近で **トレーラー4台が順次走行不能となり車線が閉塞された。**
- その影響で、関越道六日町IC～水上IC⑤、六日町IC～月夜野IC⑥が**約5時間にわたり通行止め**となり、現場付近を先頭に**車線閉塞後の車両滞留台数は464台となり、滞留解消まで約3時間**を要した。
- また、国道17号は迂回車両により各所で渋滞が発生し、群馬側の猿ヶ京スノーステーションでは交通集中を防止するために通行止めを行うなど、仕事始めの道路利用者に大きな影響が生じた。



過去の災害事例

- ・一軸 トレーラー(空荷)による登坂不能車及びスタック車両



- ・ノーマルタイヤ状況
非雪国ナンバー(首都圏)



- ・普通車ノーマルタイヤにて登坂不能車及びスタック車両として確認された台数 **6台**
⇒実際にはそれ以上の台数が走行していると思料

登坂不能車およびスタック車両への対応

・TS(トラクターショベル)による引き出し

事故等にて停車し、再出発する際に、登坂不能となつてしまい滞留の原因となつてしまった場合に、TS(トラクターショベル)にて引き出しを実施



・スタック車両の引き出し状況

・オートソック(布製タイヤチェーン貸与)による脱出

登坂不能車やスタック車両発生時に、チェーン携行しているが装着ができない車両や携行していない車両に対して、布製チェーン(オートソック)を装着し、自力離脱を実施。



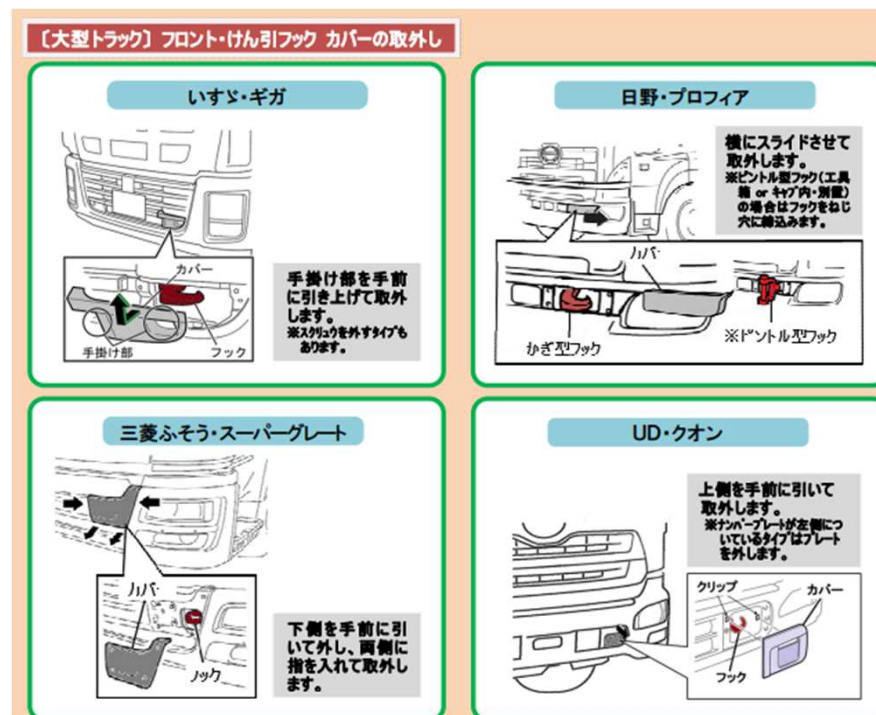
布製タイヤチェーン:《オートソック》



※出典:<https://autosock.jp/>

滞留車両を発生させないために(お願い)

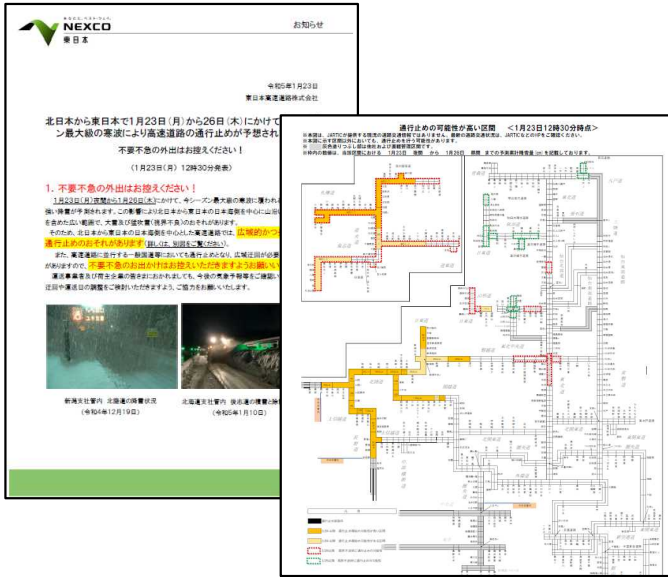
- **大雪予測時は運航計画の見直し**をお願いします。
(特に冬用タイヤ未装着車)
- 雪道走行時は**冬用タイヤ装着、チェーン装着・携行**をお願いします
特に空荷での走行時はご注意ください。
- **けん引フックの位置・カバーの取り外し方法**について再確認してください
(万ースタックした際のけん引での脱出に必要)



出典：国土交通省

情報提供の方法

● 会社ホームページ



↑ 降雪予測の数日前から、通行止めの可能性が高い区間を発表。冬タイヤ装着や広域迂回の呼びかけもしています。

● 高速道路影響情報サイト



↑ 各社のお知らせを確認できます。

● 会社公式X(旧Twitter)・LINE



↑ 降雪時の注意喚起や、通行止めの開始・解除、作業状況、解除見込み等をお知らせしています。

● ドラとら



←リアルタイム情報を発信しています。

高速道路における降雪・積雪時の災害事例とその対応 運輸防災マネジメントセミナー

首都高速道路(株)
2023年11月28日



ひと・まち・くらしをネットワーク

首都高速道路株式会社

2022年度 首都高における積雪・凍結対応

○ 2023年2月10日【東京都23区・埼玉県 大雪警報発令】

- ・ 「ノーマルタイヤ走行禁止」の注意喚起、予防的通行止め可能性を広報
 - ・ 路面状況等を踏まえて、中央環状線の一部を予防的に通行止め
 - ・ 降雪時の交通量は普通車で約70%、大型車で約85%に抑制
 - ・ 交通量が抑えられ、2時間毎の凍結防止剤散布、空ダンプ梯団走行をスムーズに実施
- ⇒ 運行計画を見直していただいた荷主企業さま、運送事業者さまのご協力に感謝申し上げます

《前週同曜日の交通状況》
(2023年2月3日10時30分)

《当日の通行止め直前の交通状況》
(2023年2月10日10時30分)



【参考】
《昨冬の降雪時通行止め直前の交通状況》
(2022年1月6日16時00分)



予防的通行止めの実施

○ 事前の情報提供

- ⇒ 関東地方整備局、NEXCO各社等の関係機関と連携して広報を行いつつ、
降雪開始（予報）の1日前を目途に予防的通行止め実施の可能性を具体的に公表します

○ 予防的通行止めのタイミング

- ⇒ スタックによる車両滞留防止のため、**路面状況が悪化する前**に通行止めを実施します

2023年02月09日
首都高速道路株式会社

2月10日（金）午前から夜遅くまで関東地方平野部における南岸低気圧による降雪・積雪の予報が出ています。ノーマルタイヤでの雪道走行は絶対におやめください。（2月9日（木）12時時点）

— 降雪・積雪の予報が出ています。路面の積雪状況によっては予防的通行止めを行う可能性があります。また、ノーマルタイヤでの走行は絶対におやめください。

2月10日（金）午前から夜遅くまで、本州の南側を通過する低気圧等の影響で、関東地方では平野部でもまとまった降雪が予想されており、路面の積雪リスクが高まる場合には、首都高速道路においても立ち往生を未然に防ぐため、予防的に通行止めを行うことがあります。特に早めに通行止めを行う可能性がある路線は、別添（予防的通行止め可能性路線マップ）のとおりですが、降雪状況によってはその他の路線においても通行止めとなる可能性があります。

また、通行止めを実施していない場合でも、入口閉鎖を実施することがあります。

お客さまには不要不急のお出かけはお控えいただくとともに、雪道を走行する際は、事故やスタックを防止するため、冬用タイヤの装着やタイヤ滑り止め装置の携行をお願いいたします。

積雪・凍結時には事故やスタックの危険性が高くなります。ノーマルタイヤでの走行は絶対におやめください。

※滑り止め装置を装着していない状態での雪道の走行は道路交通法違反となり罰則の適用があります。

首都高速道路をご利用の際には最新の交通情報や気象情報をご確認のうえ、必要に応じてご旅行の計画や運行計画の変更をよろしくお願いたします。また、運送事業者及び荷主企業の皆さまにおかれましても、広域迂回や運送日の調整をご検討いただけますよう、ご協力をお願いいたします。今後、最新の情報を適宜ホームページに掲載いたしますので、あわせてご確認ください。

冬季期間のご利用については、「冬季期間の首都高のご利用にあたってお客さまへのお話し」をご覧ください。



※ 降雪状況により、当初発表した路線以外も通行止めを行うことがあります

入口及びパーキングエリアの閉鎖

○ 入口の閉鎖タイミング

⇒ 本線の通行止めを実施する前から閉鎖を行うことがあります

※ 入口の文字情報板のほか、ロープ等に「通行止」の表示がある幕が設置されている場合は、その入口から入ることはできません。



○ パーキングエリアの閉鎖タイミング

⇒ 除雪車両の待機場所等として使用するため、降雪前から閉鎖することがあります
また、本線の通行止めが解除された後も、一時的な雪捨て場として利用するため、引き続き、閉鎖を継続する可能性があります








積雪・凍結時、ノーマルタイヤでの走行は絶対におやめください

- ☆ 路面がうっすら白くなっただけでも、ノーマルタイヤでの走行は事故に直結します！
- ☆ 首都高内にチェーンの脱着場はありません！
（PAも閉鎖している場合があります）
- ☆ 使用限度を過ぎた冬用タイヤの使用は、立ち往生や事故の原因になります！
（使用前にプラットホームの確認を！！）



具体的な情報提供の方法

運営・提供:首都高技術株式会社

<p>首都高専用の道路交通情報アプリ</p> 		
<p>リアルタイム交通情報(降雪に備えた広報、降雪時の注意喚起、通行止め情報のプッシュ通知等)</p>	<p>交通状況を配信(降雪時の注意喚起、通行止め情報等)</p>	<p>交通状況の応答及び降雪時の通行止め情報メッセージ配信</p>
 <p>iPhone: iOS10.0 以上 Android: OS6.0以上</p>		



首都高専用の道路交通情報アプリ「mew-ti」



公式X(旧Twitter)

運輸事業における降雪・積雪時 の安全確保に向けた取組

運輸防災マネジメントセミナー

関東運輸局 自動車監査指導部

令和5年11月28日

いのちと暮らしをまもる
防災減災

令和4年11月29日
自動車局
安全政策課
貨物課
審査・リコール課
整備課

自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

自動車局では、本年も、①車両対策(冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底)、②運送事業者対策(輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査)、③荷主対策(荷主への周知体制の確立)を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようよろしくお願いいたします。

① 自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② トラック・バス運送事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検[※]の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
- 運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
- 雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。

※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

③ 荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送

拠点到留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

(その他) 気象情報の活用

- 気象庁 HP の「今後の雪」も活用のうえで、事前に天気予報をご確認ください。
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

【添付資料】

- ・【別紙1】『雪道での立ち往生に注意！』（パンフレット）
- ・【別紙2】『冬用タイヤの溝深さに注意！』（チラシ）

【お問い合わせ先】

(①関係)

審査・リコール課 菊池、山下、杉山
代表:03-5253-8111 (内線:42352、42363)
直通:03-5253-8594
FAX:03-5253-1640
整備課 藤墳、森山、渡部
代表:03-5253-8111 (内線:42412)
直通:03-5253-8599
FAX:03-5253-1639

(②関係)

安全政策課 宮坂、小西
代表:03-5253-8111 (内線:41613)
直通:03-5253-8565
FAX:03-5253-1636

(③関係)

貨物課 宮屋敷、佐藤
代表:03-5253-8111 (内線:41332)
直通:03-5253-8575
FAX:03-5253-1637

雪道での立ち往生に注意！

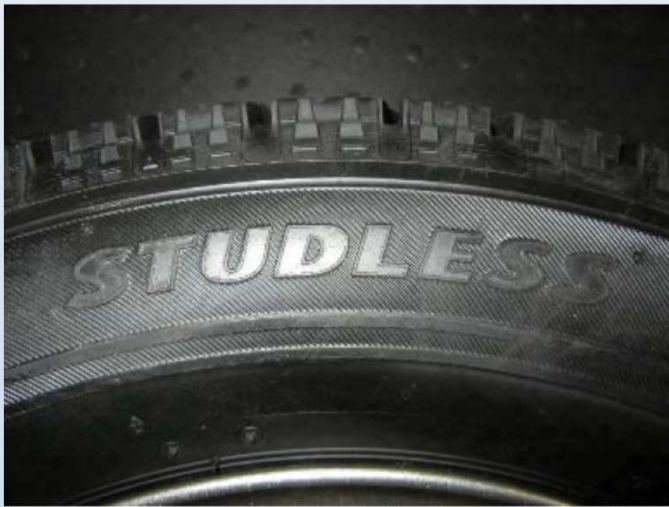
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- ❏ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❏ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❏ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

冬用タイヤの選び方

- Ⓐ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- Ⓐ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレイクマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレイクマーク
タイヤの側面に表示
されています。

冬用タイヤの使用限度

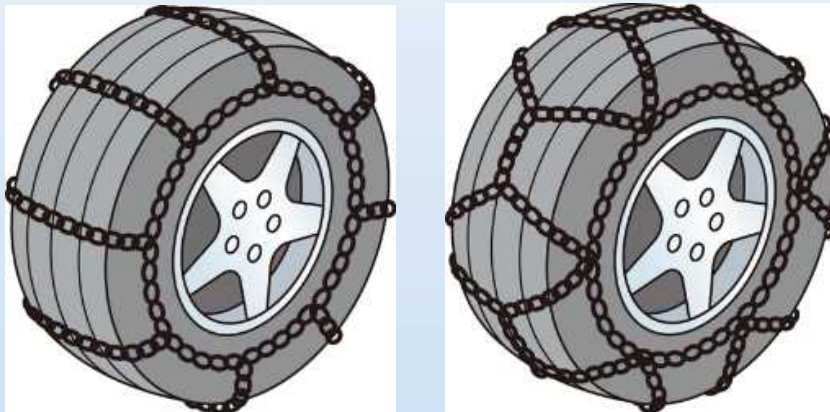
- Ⓐ **溝深さが50%以上**残っていることを「**プラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

チェーンの効果

- ❏ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❏ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❏ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❏ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

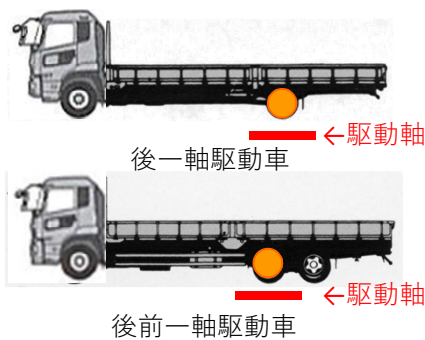
性能限界

- ❏ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触**するような**新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❏ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

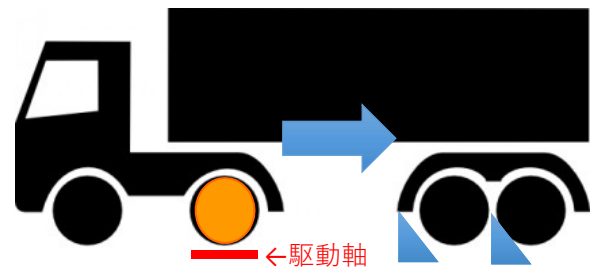
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



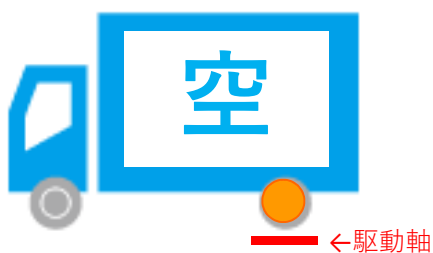
二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省

自動車局 審査・リコール課

電話番号：03-5253-8111 (内線：42363)

03-5253-8594 (直通)





冬用タイヤの溝深さに注意！

-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-

- 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するなど適切な措置を講じてください。
- 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。



積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**

⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと**挙動が安定しません。**



冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ**50%**を示す「**プラットホーム**」で、**運行前に必ず確認**してください。（一部海外メーカー品は除く）



積雪・凍結道路での運行前に、**運転上の注意点を把握**

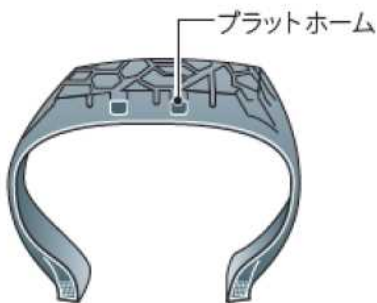
⇒ 積雪・凍結道路においては、
・**低速ギアでゆっくり発進**
・**坂道を登り終わるまでギアチェンジしない**
など、運転操作の注意が必要です。



プラットホームとは？

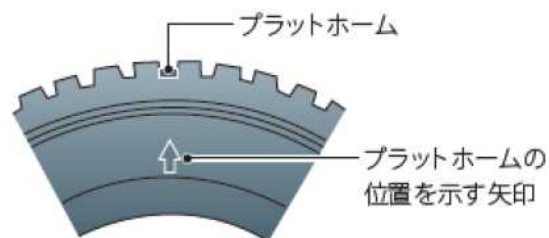
●プラットホームとは

日本国内における道路交通法施行細則等によって定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分をいいます。



●プラットホームの位置

プラットホームの位置を示す矢印がタイヤの両側面にそれぞれ周上4ヶ所以上に表示されています。



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

運転上の注意点

- ① **低速ギア**でゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- ② 急坂道では**登り終わるまで低速ギア**を使用し、ギヤチェンジしない。
- ③ **急発進、急加速、急旋回及び急停止は避ける**。柔らかくブレーキ。
- ④ **カーブに入る前に減速**する。速度は控えめ。十分な車間距離。
- ⑤ 冬用タイヤの**性能には限界がある**ので、運転時は細心の注意を払う。
- ⑥ 冬用タイヤを**乾燥路や湿潤路**で使用する場合は**走行速度に注意**する。



皆さん、ご存知でしたか？

大型車の車輪脱落事故の多くが、冬場、安全に走るためのタイヤ交換後に発生しているということ。

タイヤ交換時には、部品の錆や汚れをきちんと点検し、増し締めをしっかりと行うなど、適切に取り付けてください。

確実な点検・整備で、防げる事故があります。

「昨日も大丈夫だったから今日も大丈夫。」

その軽い気持ちで命を奪う

防ごう！大型車の車輪脱落事故 点検しよう！出発前の車両の安全

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

防ごう

大型車の

車輪脱落事故



危ない!



おと

おとさぬための 点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

動画をチェック!

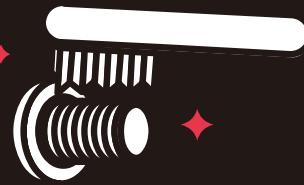
正しい点検方法や連結式ナット回転指示インジケーターの使用方法をご案内しています。



さ

さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



な

ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。

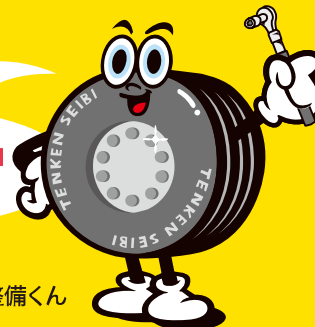


い

いちにち一度は 緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見手で触って点検します。

「おとさない」
を徹底しよう!



Mr. 整備くん



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、[車載の「取扱説明書」]や[本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ5つのポイント」]、
[下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」]などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

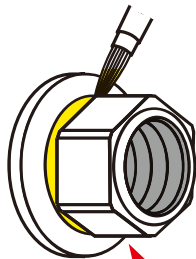
注意 ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス (誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ISO方式

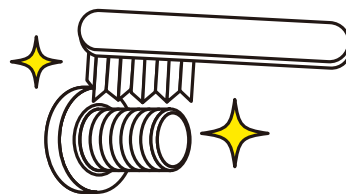
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



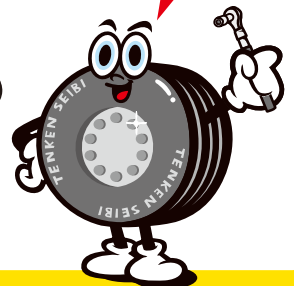
ナットとワッシャーとの隙間への注油を忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの履き替え	ボルト交換
ホイールナット使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		



参考資料 配布のご案内

運輸防災マネジメントセミナー

関東運輸局 総務部安全防災・危機管理課

令和5年11月28日

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 へ

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

輸送の安全を確保し、持続的な物流機能を維持するため、 台風等による異常気象時下における輸送の目安を定めます。

～輸送の安全を確保するための措置を講じる目安の設定～

台風等の異常気象時下において、トラックによる貨物の運送を行う場合に輸送の安全を確保するための措置を講じる目安を通達として定めます。

これにより、異常気象時における輸送の安全を確保するとともに、トラックドライバーの生命や身体を守り、持続的な物流機能維持に寄与します。

1. 背景

昨今の台風等異常気象時において、トラック運送事業者が輸送の安全を確保することが困難な状況下で荷主に輸送を強要され、トラックが横転するなどの事故が発生しており、このような場合には、ドライバーの生命や身体が害されるおそれがあることはもとより、トラック運送事業者は行政処分を受け、当初の運行計画が崩れることにより、物流全体の効率性が損なわれ、持続的な物流機能にも影響が生じるおそれがあります。

今般、こうした状況を踏まえ、台風等の異常気象時における輸送の在り方の目安を定めることとします。

2. 通達に定める内容

(1) 輸送の目安等

別添のとおり、雨や風等の強さに応じた車両へ与える影響を示すとともに、輸送の安全を確保するための措置を講じる目安について定める。

(2) 輸送を中止した場合の対応等

運送事業者等が気象情報等から輸送を中止することとした場合には、直ちに荷主等へ報告する旨や、安全な輸送を行うことができない状況であるにもかかわらず、荷主に輸送を強要された場合には、国土交通省に設置する「意見募集窓口」等に通報いただきたい旨について定める。

3. 今後のスケジュール

施行日：令和2年2月28日（金）

（問い合わせ先）

国土交通省自動車局貨物課トラック事業適正化対策室

梅田 神崎 伊丹

代表：03-5253-8111（内線 41-334, 41-353） 直通：03-5253-8576

FAX：03-5253-1637

【別表】 異常気象時における措置の目安

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時	20～30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30～50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討すべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時	10～15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15～20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20～30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討すべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良（濃霧・風雪等）時	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討すべき		
警報発表時	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断すべき		

※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。



無理な輸送を強要されたら…

荷主勧告制度

出典：国土交通省

荷主勧告制度とは

「荷主勧告」は、貨物自動車運送事業法に基づき、トラック運送事業者の過積載運行や過労運転防止措置義務違反等の違反行為に対し行政処分を行う場合に、当該違反行為が荷主の指示によるなど主として荷主の行為に起因するものと認められるときは、国土交通大臣が当該荷主に対し違反行為の再発防止のための適当な措置を執るべきことを勧告するもの。

勧告を発動した場合には、当該荷主名及び事案の概要を公表します。

また、法律に基づく勧告のほか、①勧告には至らないものの違反行為への関与が認められる荷主に対する「警告」、②関係機関からの法令違反情報等をもとに関係する荷主を特定し早期に働きかけを行う「協力要請」といった措置を通達により設けています。

こんなときは情報提供を！

上記とは別に、貨物自動車運送事業法附則第1条の2に規定する違反原因行為に該当しうる荷主の行為の例として、「**輸送の安全確保義務違反を招くおそれのある異常気象時など、安全な運行の確保が困難な状況で運行を強要するような行為**」も示しています。

輸送の安全を確保できないような運行を強要された場合には下記の国土交通省の「輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口」のホームページや適正取引相談窓口へご提供ください。

無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口

方法1

QRコードを読み取り！



方法2

ヤフーやグーグルの検索窓に下記の文字を入力して検索！

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集

検索

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集について

国土交通省では、貨物自動車運送事業者及び荷主のみならず、これまで、「標準運送約款の改正」、「適正取引の推進」、「荷主勧告制度」等を周知してきました。

これらの取組みに関するご認識、浸透度、実施状況等の実態把握を行うため、輸送・荷待ち・荷役などに関する意見等の募集窓口を設置致します。

意見等の募集窓口

長時間の荷待ちや契約に含まれない附帯業務（追加業務）など、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報をお持ちの場合は、[こちら](#)へ情報をお寄せください。

●お持ちの情報はこちらへ投稿ください

クリックすると投稿画面が開きます

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集について

意見等の募集の目的

国土交通省では、長時間の荷待ちや契約に含まれない附帯業務（追加業務）など、コンプライアンス確保に影響しうる輸送について、ご意見・事例を収集して実態把握し、今後の施策に活用したいと考えております。

実際に輸送業務を行っている中で、たまたまではなく、それなりに頻度が多く発生する上記のような輸送がございましたら、ご自由にご入力ください。

※意見・事例収集が目的ですので、ご記入頂いた内容について、ご本人、会社や荷主に問い合わせなどをすることはありません。

（意見等を記入されたご本人が、ご自分に連絡を差し上げて差し支えない旨及びご連絡先を先記されていた場合にはご本人に問い合わせさせていただきます。）

・次の質問にお答えください。

Q1. ご意見・事例の分類について、該当する項目1つを選択してください。【必須】

- 1. 速度違反を惹起するおそれがある非合理的な到着時間の指定等
- 2. やむを得ない遅延に対するペナルティ等
- 3. 積込み直前に貨物量を増やすような急な依頼等
- 4. 荷待ち時間の相応的な発生等
- 5. 依頼と異なる積込み作業等
- 6. 依頼にはなかったラベル貼り・検品などの附帯作業等
- 7. 高速料金など費用の自己負担等
- 8. 過度な貨物事故（つぶれ、破損、へこみ、こすれ、擦れなど）への対応等
- 9. 異常気象によるトラブル等
- 10. その他、コンプライアンス的に問題と思われるもの

（内容：）

※複数該当するものがある場合には、項目毎に複数回に分けてご記入ください。

国土交通省適正取引相談窓口

国土交通省 自動車局 貨物課	03-5253-8575	北陸信越運輸局 自動車交通部 貨物課	025-285-9154	中国運輸局 自動車交通部 貨物課	082-228-3438
北海道運輸局 自動車交通部 貨物課	011-290-2743	中部運輸局 自動車交通部 貨物課	052-952-8037	四国運輸局 自動車交通部 貨物課	087-802-6773
東北運輸局 自動車交通部 貨物課	022-791-7531	近畿運輸局 自動車交通部 貨物課	06-6949-6447	九州運輸局 自動車交通部 貨物課	092-472-2528
関東運輸局 自動車交通部 貨物課	045-211-7248	神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門	078-453-1104	沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課	098-866-1836

ドライバーの命と大切な荷物を守るために！異常気象時は運行中止も視野に…

台風等による異常気象時における無理な運行により、近年、事業用トラックの横転事故等が相次ぐなど、トラック運送事業の遂行に支障をきたす事案が散見されております。

台風等による被害発生が予測される場合には、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、着荷主・発荷主等とも連携を図りつつ、ドライバーの命と大切な荷物を守るための行動の実践に取り組みましょう。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、国土交通省のホームページに設置する「意見等の募集窓口」や、最寄りの地方運輸局又は運輸支局等にその旨通報する手段が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討すべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討すべき
降雪時 	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時 		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 			視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討すべき
警報発表時 			輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき

* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

出典：国土交通省自動車局貨物課長通達 ※この目安は令和2年2月28日現在。

異常気象時における気象情報等の入手先(例)

※以下の情報サイトは全日本トラック協会が調べた令和2年10月1日現在の情報です。

トラック運送事業者又は運行管理者は、気象情報等から輸送の可否判断を行うこととなりますが、その際、出発地や集貨先、配送先及び輸送経路上の正確な気象情報等の入手先は極めて重要です。ここに掲げた異常気象時における気象情報等の入手先(例)などを活用し、事業用トラックの横転事故等が発生しないよう輸送の可否判断に万全を期しましょう。

気象情報

※QRコードの位置は誤認識を防ぐ為の配置となっています。

天気予報 ☀️	気象庁 天気予報 https://www.jma.go.jp/jp/yoho/	気象庁 週間天気予報 https://www.jma.go.jp/jp/week/
降雨時 ☔️	気象庁 アメダス 降水量 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=0	tenki.jp 雨雲レーダー https://tenki.jp/radar/map/
暴風時 🌪️	気象庁 アメダス 風向・風速 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=1	YAHOO天気・災害 風予測 https://weather.yahoo.co.jp/weather/wind/
降雪時 ❄️	気象庁 現在の雪 https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/	気象庁 アメダス 積雪深 https://www.jma.go.jp/jp/amedas/?elementCode=4
視界不良(濃霧・風雪等)時 🌫️	気象庁 気象警報・注意報 濃霧 https://www.jma.go.jp/jp/warn/000_20.html	CPS-IIPリスクウォッチャー 濃霧注意報・気象警報最新マップ http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/warning-map/20/
警報発表時 🔔	気象庁 気象警報・注意報 https://www.jma.go.jp/jp/warn/	tenki.jp 警報・注意報 https://tenki.jp/bousai/warn/
ライブカメラ映像 📹	国土交通省 各地方整備局の取組 全国のライブカメラ https://www.mlit.go.jp/road/bosai/LIVEcamera.html	(公財) 日本道路交通情報センター http://www.jartic.or.jp/jartic_web/info/snowfall2014_.html

お使いのスマートフォンやパソコンによって画面の表示が異なることがあります。また、QRコードの読み取りソフトによってサイトまでの表示手順が異なる場合があります。

各情報をもとにとるべき行動と、相当する警戒レベルについて

出典：気象庁

情報	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報※1	地元自治体が避難勧告を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル4相当
大雨警報(土砂災害)※2 洪水警報 高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの※3)	地元自治体が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル3相当
大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報(警報に切り替える可能性に言及されていないもの※3)	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル2

- ※1 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。
- ※2 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。
- ※3 警報に切り替える可能性については、市町村ごとの警報・注意報のページで確認できます。

道路管理者が提供する道路情報

※道路防災情報：事前通行規制区間、冠水想定箇所等
※交通規制・道路気象：道路に関する規制情報やお天気情報、路面情報

全国
道路防災情報WEBマップ
https://www.mlit.go.jp/road/bosai/doro_bosaijoho_webmap/index.html
交通規制・道路気象
<https://www.mlit.go.jp/road/roadinfo/>

北陸地方整備局
新潟県、富山県、石川県
道路防災情報 交通規制・道路気象

中国地方整備局
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
道路防災情報 交通規制・道路気象

近畿地方整備局
福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
道路防災情報 交通規制・道路気象

九州地方整備局
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
道路防災情報 交通規制・道路気象

北海道開発局
北海道
道路防災情報 交通規制・道路気象

東北地方整備局
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
道路防災情報 交通規制・道路気象

関東地方整備局
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
道路防災情報 交通規制・道路気象

中部地方整備局
岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県
道路防災情報 交通規制・道路気象

四国地方整備局
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
道路防災情報 交通規制・道路気象

沖縄総合事務局
沖縄県
道路防災情報 交通規制・道路気象

道路・交通情報

通行止め 🚫	国土交通省 ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp/	(公財) 日本道路交通情報センター 高速道路や一般道路の通行止め、渋滞、冬用タイヤ必要等の情報 http://www.jartic.or.jp/
渋滞情報 🚗	ドラとら https://www.drivetraffic.jp/	
雪道情報 ❄️	国土交通省 冬の道路情報 雪みち情報リンク集 https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/fuyumichi.html	国土交通省北陸雪害対策技術センター おしえて!雪ナビ http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/
異常気象時の運転注意点 🚗	国土交通省 冬の道路情報 雪みちの運転テクニックに関するリンク集 https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/drive.html	JAF 台風・大雨時のクルマに関する注意点 https://jaf.or.jp/common/attention/flood

高速道路情報

全国高速道路交通情報 (リアルタイムな渋滞規制情報) ※一部のサイトでは都市高速道路、一般道路の情報も含まれます。	
(公財) 日本道路交通情報センター http://www.jartic.or.jp/	アイハイウェイ (中日本) https://www.c-ihighway.jp/pcsite/
ドラぶら https://www.driveplaza.com/	アイハイウェイ (西日本) https://ihighway.jp/pcsite/

異常気象時の高速道路影響予測

国の「緊急情報」や、「特別警報」が発令されるようなときには、高速道路各社と気象予測会社が連携して注意喚起の広報が行われるサイトです。なお、平常時は、「現在、大雨や台風に関する情報を発表していません」などと表示されています。

(株) ウェザーニュース
<https://weathernews.jp/v/road/>

NEXCO東日本 https://www.e-nexco.co.jp	NEXCO中日本 https://www.c-nexco.co.jp	NEXCO西日本 https://www.w-nexco.co.jp
首都高速道路(株) https://www.shutoko.co.jp/	阪神高速道路(株) https://www.hanshin-exp.co.jp/company/	本州四国連絡高速道路(株) https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/

輸送支援サービス ※有料

(一財) 日本気象協会
GoStopマネジメントシステム
<https://www.jwa.or.jp/news/2020/05/9795/>

(株) ウェザーニュース
最適輸送計画支援サービス
<https://jp.weathernews.com/news/31362/>

異常気象時における通行止めの可能性は各サイトのニュースリリースをご覧ください。

運輸防災マネジメントセミナー

令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室

- 1** 自然災害（雪害）の状況と被害
- 2** 自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント
- 3** 運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）
 - (1) 経営トップの責務
 - (2) 防災の基本方針
 - (3) リスク評価
 - (4) 事前の「備え」
- 4** まとめ



1 自然災害（雪害）の現状と被害

■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明

3 運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

(2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



リスク評価の流れ

①自然災害の種別・程度を把握

②被害の規模・程度を見積もる

③事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④対策を実行

事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



留意すべき点



① 計画的装備

リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

③ 防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

④ 事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ➡ 冬用タイヤへの交換
- ➡ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ➡ 冬用ワイパーへの交換
- ➡ こまめな給油
- ➡ 十分な車間距離の確保
- ➡ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ➡ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

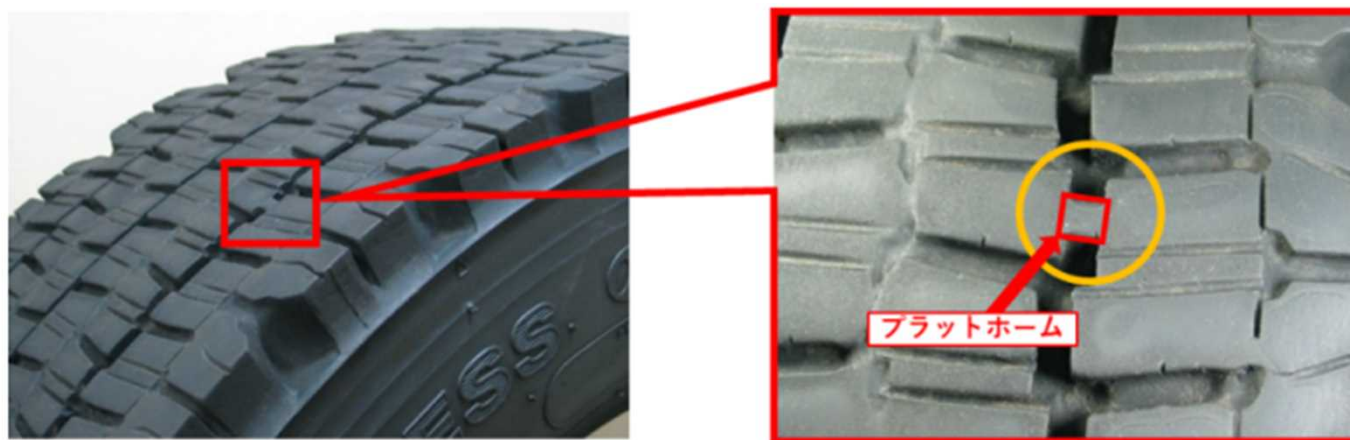
- ➡ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度※よりもすり減っていないことを確認しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、点呼の際に上記事項が確認されていることを確認しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

(4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



留意すべき点

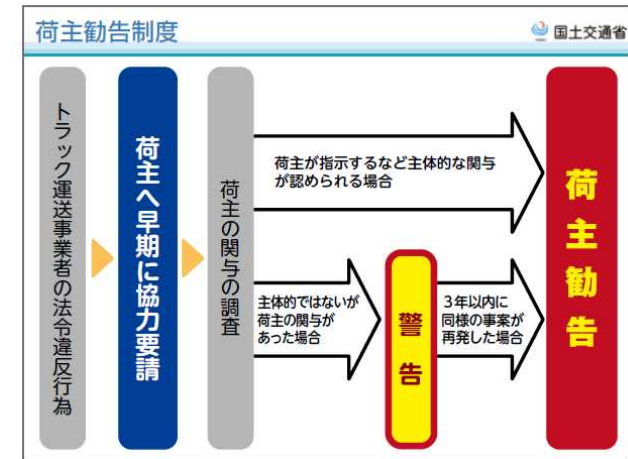
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



取組

① 豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆ 対策本部の設置基準：新潟地方気象台16時時点で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において **下越海岸部で最大20cmを超えた場合**

◆ 対策本部の体制：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆ 早朝の巡回体制の構築：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき巡回を実施し、**路線毎に運行・運休・迂回運行を判断**。始発5:30までに 利用者へTwitter、HP等で情報提供 → R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ **見直し・改善**

	出勤時間	担当 (2班体制→3班体制)	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>

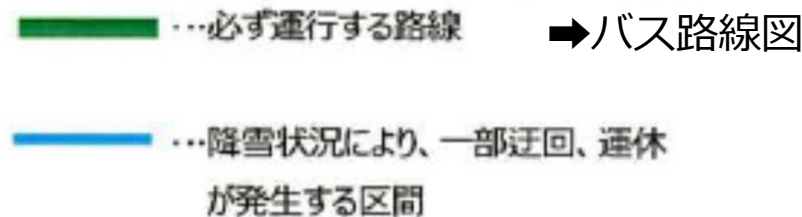


取組 (続き)

- ②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪
- ③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には**常に良い状態のタイヤを維持**

④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

4 本日のまとめ

1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

2. 防災の基本方針

重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



3. リスク評価

重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

降雪・積雪情報の入手先を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施



ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。





国土交通省 大臣官房
運輸安全監理官室

運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

目的 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

特徴

① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



見どころ

①指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆防災の基本方針 ◆自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆利用者/荷主への情報提供
- ◆関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆教育・訓練等



QRコード

②具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

③関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

取組事例のHP公開について

33件(鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件)令和5年11月現在

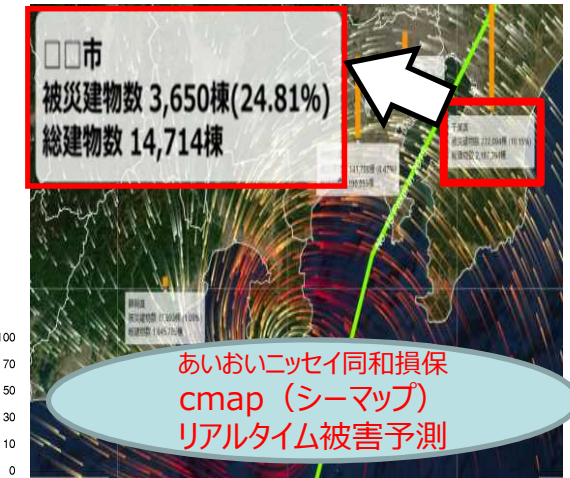
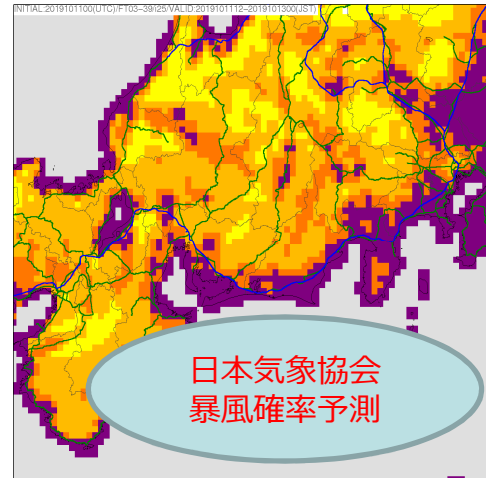


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省
：川の防災情報
防災ポータル
重ねるハザードマップ
わがまちハザードマップ
DiMAPS
大規模氾濫減災協議会制度



BCP策定等の支援

- 地方自治体
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針
BCP策定・運用についての
専門家派遣
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行
：BCM格付融資
- 金融機関等
：BCP作成支援

再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の
信用保証協会
：セーフティネット保証4号
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合
：生活衛生改善貸付

多言語対応支援

- 日本政府観光局
(JNTO)
：コールセンター
(050-3816-2787)
アプリ
(Safety Assistance)
WEB、SNS



※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

火山

等

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

海洋

等

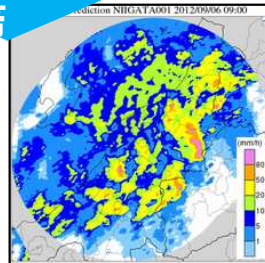


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

豪雨・浸水・洪水・高潮対策

● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

● ダムの事前放流判断支援サービス

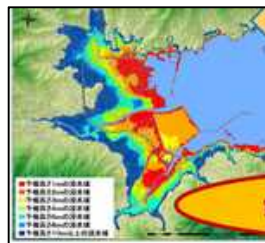
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

危機管理・防災

● GoStopシステム

全国的高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

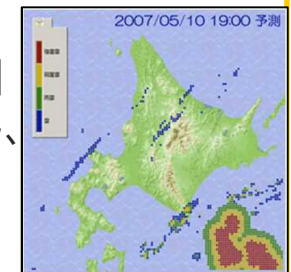
警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



気象
リスク
マネジメント
に関する情報
を提供

● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

その他

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開。

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

〈災害時、見てほしい情報〉

被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

逃げるための情報

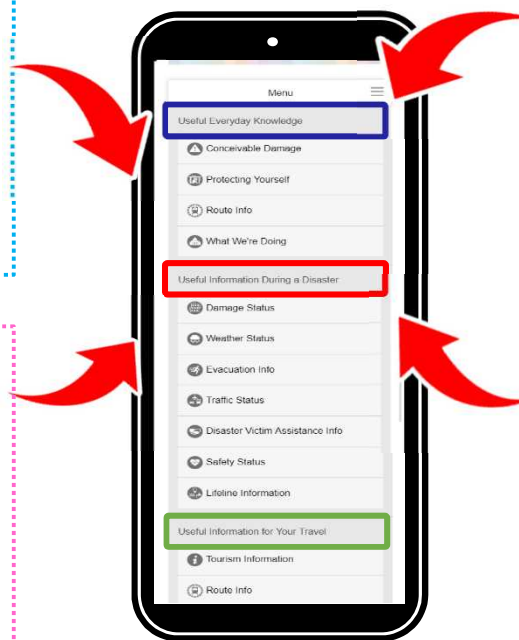
避難所等の防災施設を検索することができます

交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが
一元化



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



出典：国土交通省川の防災情報ホームページ (http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



(https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

道路冠水想定箇所
緊急輸送道路
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

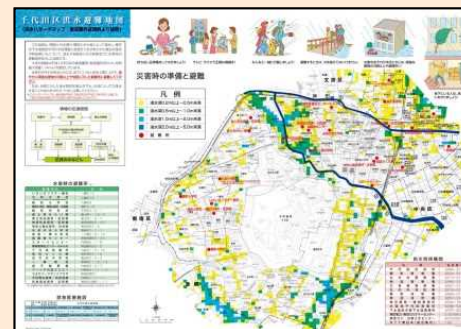
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧

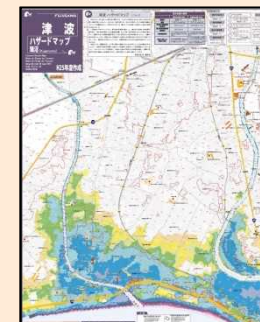


わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート
の検討



浸水想定区域

浸水対策
の検討



土地条件図等

耐震対策
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

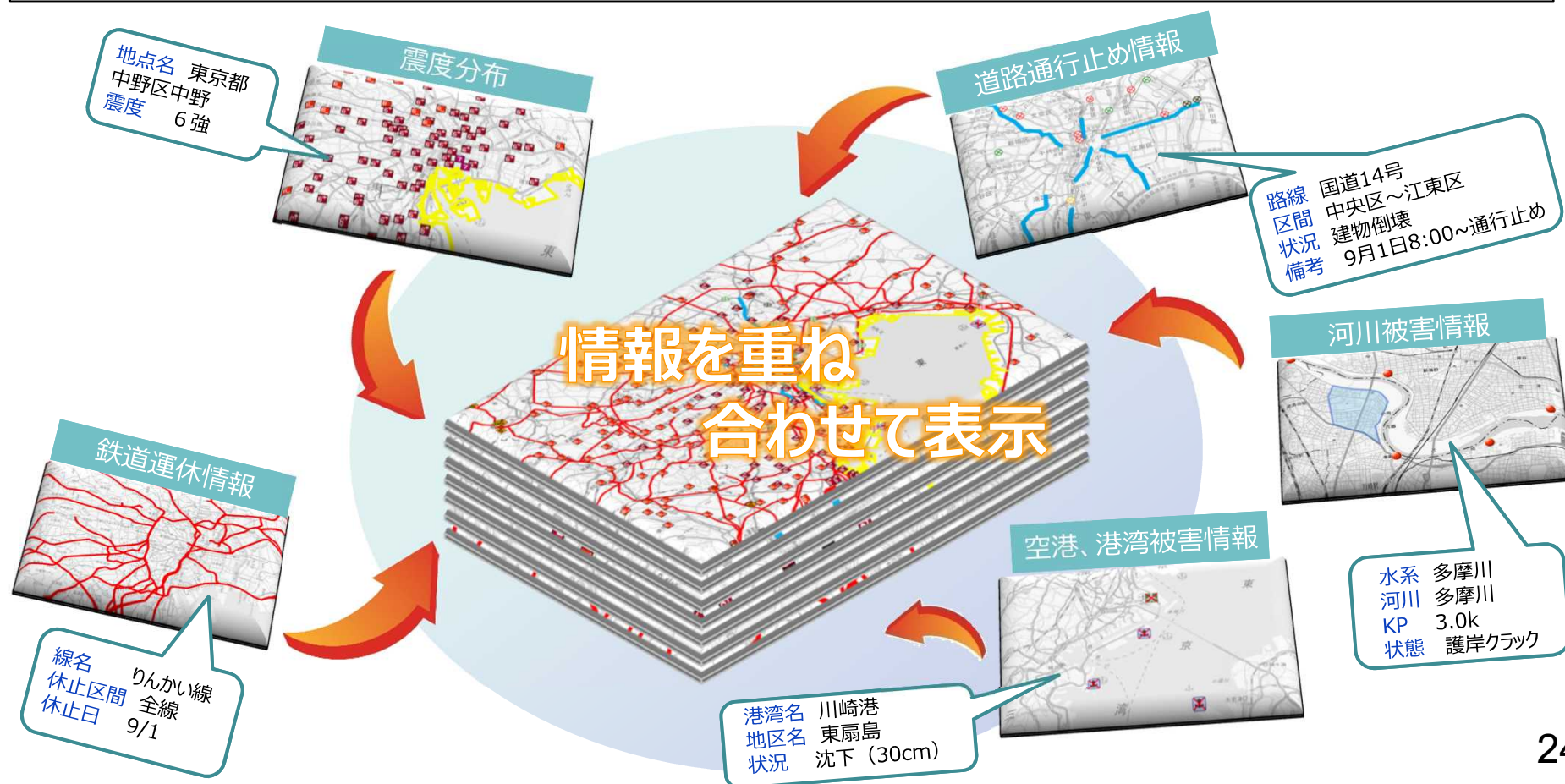
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。





出典：内閣府ホームページ（http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM : Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者1人で延べ3～5日程度 ・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」(050-3816-2787)

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」(Other内)・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



○JNTOグローバルウェブサイト

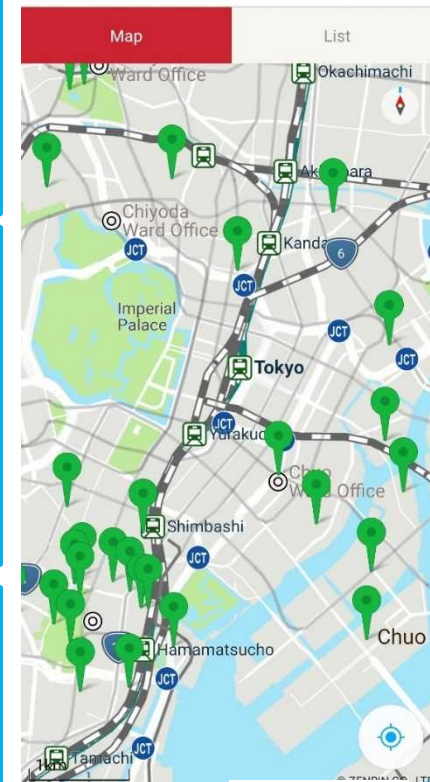
このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例

※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		

災害時の政府、地方運輸局等の対応について

2023/11/28(火)
国土交通省 大臣官房
参事官（運輸安全防災）室

- ✓ 自然災害への対応
- ✓ 報道発表などの呼びかけ
- ✓ 被害情報の収集と対策
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置
- ✓ 国民への情報発信
- ✓ 実際の対応例
- ✓ 事業者の皆様をお願いしたいこと

大雪、大雨、地震等の自然災害に対し、政府はその発生による被害を最小化し、また二次被害の発生を防止するため、以下などの対応を行います。

- ✓ 被害情報の迅速・適確な把握
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置(勢力の投入、関係省庁の対応の調整)
- ✓ 国民への情報発信

← ポストする

 首相官邸(災害・危機管理情報) 
@Kantei_Saigai

【緊急地震速報】

能登半島沖で地震 北陸 甲信で強い揺れ
強い揺れに警戒してください。

発表日時 5日21時58分

対象地域：石川県能登、新潟県上越、富山県西部、富山県東部、新潟県佐渡、石川県加賀、長野県北部、新潟県中越、新潟県下越

午後9:58 · 2023年5月5日 · 84.3万 件の表示

1,296 リポスト 49 件の引用 1,983 件のいいね 12 ブックマーク

    12 

首相官邸X(旧Twitter)より



九州北部豪雨(2017年)に伴う災害派遣
防衛省HPより

報道発表などの呼びかけ

大雪や大雨など、自然災害発生の恐れがあるときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 注意喚起

内閣府主催の関係省庁会議を受けて、国土交通省では本省から地方運輸局等を通じ、事業者の皆様にご注意喚起を実施

その他、国土交通省・気象庁の合同記者会見等の報道発表による国民への呼びかけなど

✓ 情報連絡体制の確保

地方運輸局等は、災害発生時に速やかに連絡がとれるよう事業者との間で連絡体制を確保

注意喚起文書の例

事務連絡
令和5年9月7日

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第13号に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第13号は日本の南を北上し、8日午後には東海地方や関東甲信地方にかなり接近し上陸する可能性があり、その後は北上を続けて10日朝までには三陸沖で熱帯低気圧に変わる見込みです。

...

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行（航）計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかな TEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備

大雪の報道発表の例



令和4年12月21日 気象庁にて

被害情報の収集と対策 - 1

また、実際に災害が発生したときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 関係省庁災害対策会議(大規模な災害の場合)

関係省庁の担当者が官邸に集まり、被害情報の共有・とりまとめ

→ 対策の検討を行う「関係省庁災害対策会議」(内閣府)の開催、等

内閣府HPより



**令和4年台風第14号特定災害対策本部会議
(令和4年9月17、19、20、21日)**

被害情報の収集と対策 -2

✓ 国土交通省災害対策本部(大規模な災害の場合)

各局の担当者が国土交通省・防災センターに集まり、被害情報の共有・とりまとめ、官邸への報告を行う。

国土交通省に求められる情報

以下など

- ・新幹線等、電車の脱線の有無
- ・道路、河川、鉄道、空港、港湾等の社会資本施設の被害、公共交通機関の運行状況
- ・高速道路の閉鎖状況
- ・情報収集体制の状況(防災ヘリの映像等)
- ・緊急輸送道路の確保、応急復旧の見込み
- ・緊急災害対策派遣の状況(準備、派遣、活動状況)
- ・大規模な土砂災害(天然ダム含む)の状況

国土交通省 被害状況等のとりまとめ

災 害 情 報
令和 5 年 8 月 14 日 15:00 現在
国 土 交 通 省

令和 5 年台風第 7 号による被害状況等について (第 1 報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表 (8/14 12:00 時点)

○強い台風第 7 号は日本の南にあって北上している。15 日に猛烈な風を伴い近畿地方から東海地方にかなり接近し、紀伊半島付近に上陸する。その後、日本海を北上し、17 日頃には北日本に接近するおそれ。

■ ■ ■

(5) 鉄道 (8/14 13:00 時点)

<新幹線>

【運転を見合せている路線】: なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】: 2 事業者 2 路線

J R 東海: 東海道新幹線

J R 西日本: 山陽新幹線

<在来線>

【運転を見合せている路線】: なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】: 22 事業者 87 路線

J R 東海: 東海道線、武豊線、関西線、紀勢線、名松線、参宮線

J R 西日本: 北陸線、越美北線、小浜線、東海道線、湖西線、おおさか

(6) 航空 (8/14 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

・ 14 日 欠航便 36 便 (JAL 19 便、ANA 6 便、その他 11 便)

(7) 海事 (8/14 12:00 現在)

○被害状況等

・ なし

○運休状況等

・ 35 事業者 49 航路運休

(8) 自動車 (8/14 12:00 時点)

○運休状況等

・ 高速バス: 8 事業者 10 路線運休、一部運休なし

・ 宅配事業者: 大手 1 事業者において一部地域で集配遅延

把握した被害情報に基づく措置 -1

政府は、とりまとめた被害情報を基に対処を指揮します。
国土交通省をはじめとする各省庁は、政府の指示の下で措置を執ります。

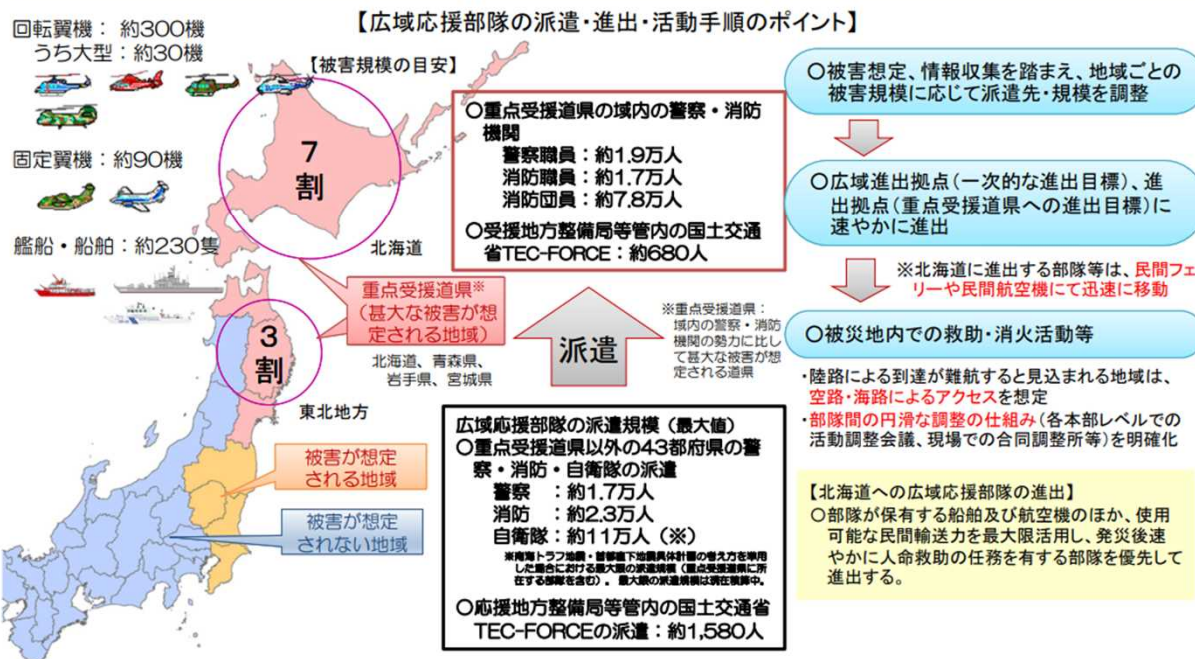
- ✓ 関係省庁と連携した対応
 応援部隊の輸送、緊急医療物資の輸送等の実施
- ✓ TEC-FORCEの広域派遣

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における救助・救急、消火活動等に係る計画の概要



趣旨・概要

○日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による甚大な被害に対して、**発災直後から、被災道県内の警察・消防を最大限動員**するとともに、**被災管内の国土交通省TEC-FORCEを最大限動員**する。また、被害が甚大な地域に対して、**全国から最大勢力の警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊の災害派遣部隊及び国土交通省TEC-FORCE（以下「広域応援部隊」という。）を可能な限り早急に投入**するための初期期における派遣方針と具体的な手順等を定めるもの。



(内閣HPより)

把握した被害情報に基づく措置 -2

なお、あらかじめ決まっている初動対応については、政府からの指示によらず各省庁にて迅速に実施されます。

- ✓ TEC-FORCEの派遣
都道府県の災害対策本部等にTEC-FORCEを派遣
- ✓ プッシュ型の支援実施
被災地の支援ニーズの情報収集、支援の実施

交通系TEC-FORCEの役割

●地方運輸局等では、各都府県で職員をTEC-FORCEに任命しており、以下の取組を実施(令和5年4月1日時点で654人が任命)

輸送支援班の主たる活動

○被災直後:
自治体等への輸送支援実施のための
情報提供・情報収集

【情報収集】

○所管事業者の被害状況の把握



○被災自治体へのリエゾンの派遣による情報収集、
被災自治体のニーズを本省に報告



【情報提供】

○国交省(本省・運輸局)で集約した被災状況を被災
自治体等に情報を提供

○国民、事業者への情報提供

○被災状況把握後:
緊急物資・避難者の輸送、代替輸送、帰
宅困難者対応に関する調整及び支援

【緊急物資・避難者の輸送】

○被災自治体等からの支援物資輸送相談を受け、
災害支援物資の輸送手段確保のため、地区トラッ
ク協会等と調整
○被災者の避難に関する輸送手段確保の調整



【代替輸送】

○鉄道等代替バス、船舶の臨時運航の調整



【帰宅困難者への対応】

○列車ホテルの手配や旅客滞留状況に応じた終電
時刻以降の運行継続、滞留発生駅へのタクシーの
優先配車等の対応を調整

その他活動

【被災者の生活支援】

○車検等の有効期間延長

【経済活動・インフラ復旧支援】

○観光風評被害への対策としての状況
調査や自治体からの相談対応



○鉄道施設等の復旧に向けた支援
令和2年7月豪雨(令和2年7月)



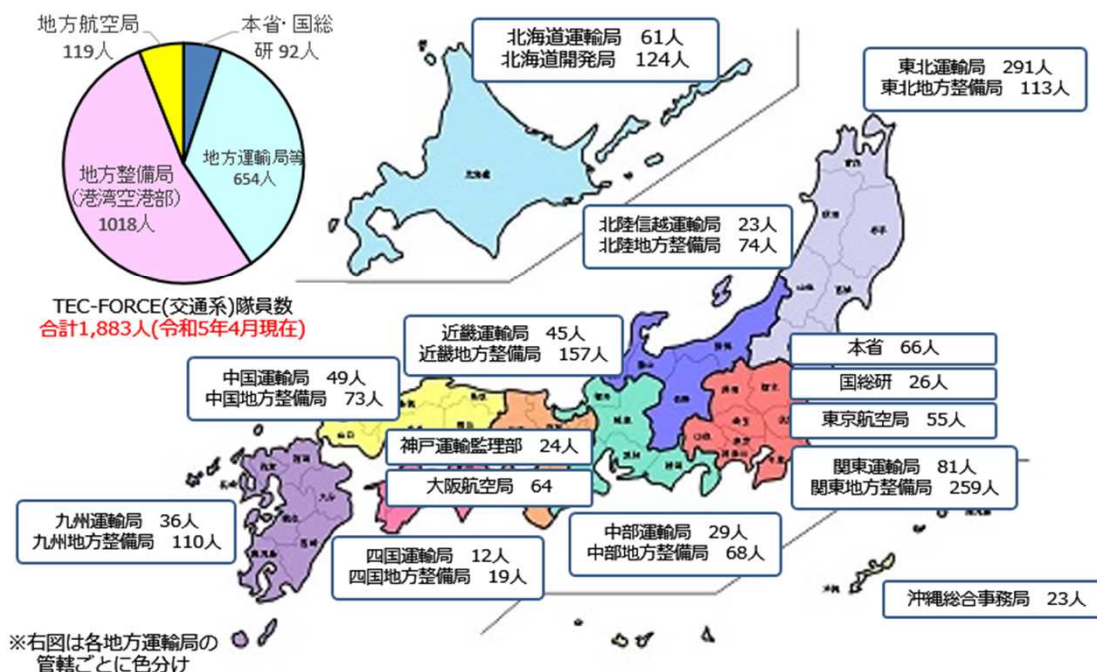
○今後の鉄道施設の復旧や代替輸送
に向けた調整のため、TEC-FORCE
を肥後おれんじ鉄道株式会社へ派遣
(災害復旧補助派遣)

把握した被害情報に基づく措置 -3

交通系TEC-FORCEの任命状況

地方運輸局等で654名(R5.4.1時点)となっている。

○TEC-FORCE(交通系)の隊員は、本省、国総研、全国の地方運輸局等、地方整備局(港湾空港部)、地方航空局等の職員が任命されており、災害の規模に応じて全国から集結。



交通系TEC-FORCE (地方運輸局等) の各年度の派遣実績

令和5年度 31人日(9/30時点)
 令和4年度 46人日
 令和3年度 125人日
 (うち、R3年7.1からの雨 54人日)
 令和2年度 208人日
 (うち、R2年7月豪雨 140人日)
 令和元年度 499人日
 (うち、令和元年台風 413人日)

●国民への情報発信

政府は、とりまとめた被害情報を基に国民への情報発信を実施

内閣HPより



中野政務官(左)、星野副大臣(右)
令和5年1月20日からの大雪等に係る
関係省庁災害警戒会議
(令和5年1月23日)

首相官邸HPより



磯崎仁彦内閣官房副長官会見
大雪の被害情報、政府の対応等について
(令和5年1月25日午後)

令和5年 1月20日からの大雪 の対応例

令和5年1月20日からの大雪(2023/1/20~26頃)

気象状況(国土交通省HPより抜粋)

○24日(火)から25日(水)にかけて、日本の上空にこの冬一番の強い寒気が流入し、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。

○25日にかけて、西日本から北陸地方を中心に大雪となり、京都市など普段雪の少ない地域でも積雪となった。中国地方では24日夜に短い時間に積雪が急激に増え、厳重な警戒を呼び掛けた。25日の最低気温は南西諸島を除き全国的に氷点下となり、広い範囲で過去10年の最低気温に近い冷え込みとなった。…

会議等

1/20 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

1/23 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

報道発表等

1/20~23 関係地方整備局、運輸局、気象台等より
大雪に対する呼びかけを実施

(東北、北信、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)

1/23 国土交通省、気象庁による大雪の緊急発表

1/25、26 官房副長官会見

被害状況等のとりまとめ

1/23~27にかけ、計10回実施



R5.1.24~25頃 JR西日本プレス発表資料より
鉄道車両15本の駅間停車発生

NEXCO中日本 名古屋支社 @c_nexco_nagoya - 32分
#新名神 洗滞解消に向け除雪作業を実施しております。



R5.1.24~25頃 NEXCO中日本のHPより
新名神 車両滞留発生

事業者の皆様にお願したいこと

- ✓ 社内の危機管理体制の確認
初動対応マニュアル、緊急連絡担当者名簿・連絡先
備蓄品、ハザードマップの確認など
- ✓ 地方運輸局等との連絡体制の確認
- ✓ 地方運輸局等への被害情報、運行見合わせ情報の迅速・適確な共有
国土交通省HPからも事業者の運行(航)情報にリンクを貼っているものあり
- ✓ 運行(航)情報のHP等での積極的な情報発信・提供
- ✓ 運輸局から代替輸送等の協力依頼等の連絡があった際の、対応の検討・協力



The screenshot shows the homepage of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport's Disaster Portal. A red box highlights the '防災ポータル' logo, with an arrow pointing to the '直接アクセスする場合' (Direct Access Case) section. This section provides the URL <http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html> and a QR code for direct access. The main page content includes sections for '防災ポータル' overview, 'お出かけ前に雷ナビ' (Thunder Navigation), 'お出かけ前にお知らせ! 雷ナビ' (Thunder Navigation notice), 'お出かけ前にお知らせ! 雷ナビ' (Thunder Navigation notice), 'お出かけ前にお知らせ! 雷ナビ' (Thunder Navigation notice), and 'お出かけ前にお知らせ! 雷ナビ' (Thunder Navigation notice). There are also sections for '被害状況' (Damage Status), '気象状況' (Weather Status), '避難するための情報' (Information for Evacuation), '交通・物流情報' (Traffic and Logistics Information), '被災者支援情報' (Disaster Relief Information), and '安全情報' (Safety Information).

国土交通省防災情報ポータルサイト

被害情報収集時の運輸局連絡先

被害情報等の関東運輸局(支局等含む)への報告先

●鉄道

業務を所管する関東運輸局鉄道部の窓口へご連絡の上、被害情報等の連絡先の再確認をお願いします。

●自動車・海事・物流・観光等

業務を所管する関東運輸局(運輸支局及び海事事務所も含む)の窓口や協会等の加入団体へご連絡の上、被害情報等の連絡先の再確認をお願いします。

●航空関係

運休・施設被害: 航空局総務課 TEL:03-5253-8111(内線48-113)